京城日報

太平洋會議

京城日報 社説

秋月左都夫

吾人は日本の軍備は自衛上實に已むを得ざるに起りたりとし之を説明せん爲め日本の對外關係の沿革を敘したりしが、難ずる者或は云はん、軍備も可なり、戰ひも亦已むを得ざるの場合あらん。但し他國の領土を割取し若くは全部併呑し、又は他國の主權の一部分を犯すの行爲を敢てするは正當と謂ひ難しと。日本は朝鮮を併合せり。これ固より日本の自衛上已むを得ざるに出でたるなり。但し朝鮮にして自ら外侵に備ふるの志と實力とありしならば、日本は手を著くるの必要なかりしなり。然るに半島は久しき以前より『國』と名づくべきもの殆どあることなく、空しく國家の形骸を存せしのみ（朝鮮に志士仁人少からずして百難を排して國を救はんとせしも寸效なく毫も國運を挽回する能はざりしは命數なり）即ち半島は空虛なりし。自然は空虛を忌む。空虛あれば直ちに必ず何物か入り來りて之を充塞すること、動かす可からざるの原則なり。故に日本若し半島に入らざりしならば、必ず露西亞之に入りしなり。是政策なりしや否やを問ふを要せず。ただ必然の勢なりしなり。然るに露の半島に入るは日本の忍ぶ能はざる所なり。日本の半島に對する政策を研究せんと欲する者は、今吾人が述べたる所を考慮せざる可からず。之を度外に置きては斷じて正鵠を得たる判斷を下す能はず。

滿洲に於ける日本の政策も同じく露に備ふるものなり。支那にして露の南下を制するの意思と實力とを有せしならば、日本は之に立入るの要なかりしなり。然るに支那に此志なかりしは其の滿洲を露に委棄せしを見て明かなり。

日支戰爭後遼東半島の割讓を求めたるは、支那の復讐戰に備へんが爲めなり。數と容積に於て到底彼に敵する能はざるを以て、手早く咽喉即ち急處を抑へて、全支那を制せんとの考へに出でしなり。大體を辨へざるの愚策かは知るべからずと雖も、實情は斯の如し。徒らに侵略を事とせしに非ず。中々そんな贅澤を考ふるの餘裕はなかりしなり。臺灣は戰費の賠償なりしもこれは領土慾といふて云へぬこともなかるべし。

歐洲大戰中大隈內閣の對支二十一箇條要求は誠に一言の申譯なしと云ふ者もあり。吾人も之を正當なりとは主張せず。談判中その不當にして且つ不得策なるを絕呼せし新聞は極めて少數なりしが、輿論新聞は其中の一にして毎日の如く其非を鳴らしたり。筆を執りしは此稿の筆者なるが、假令此要求は不當にしても說明は充分出來る事なり。しかも可なり尤もなる說明をなし得べしと信ず

大隈外交に反對の聲の餘りなかりしを見れば、日本全國民の考へを代表せし外交たるの觀なきにあらずと雖も、政府外の有識者中之に反對せざりしは殆どなかりしなり。唯其の蹶起するの勇なかりしは實に遺憾に堪へず。默過せしは同意なりと看做されても據なからん。夫は兎も角も一般の者は、眞實マア〳〵大隈外交を贊成せり。其明は日本對外關係の歷史、就中日支戰爭後に於ける列强の行動に求むる時は、實に明瞭にして人をして手を拍て首肯せしむるものあり。此時に於て日本の地位を絕東に固めざれば機會は再び來らざるべし。又々追ひ退けらるること昔日の如くならんと感じたるなり。こんな事をして善いのか知らぬと云ふ如き、何となく心中安からぬ感ありたる樣なり。而も淺慮笑はば笑ふべし。自衞の本能が働きたるの結果なるは明かなり。

朝鮮の巫女に就て（十）

文學博士　鳥居龍藏

例へば注連を張ると這入る事が出來ない神聖の場所であります。是に這入る事の出來ない者は、途中で死人に會つた者とか病患者或は出血をした者、然う言ふ者は此中に這入る事は出來ぬ。夫は注連を張つて避けば其意味になるのである。日本に於ては注連は宗教上の一つの儀式になつて居るけれども朝鮮では夫ればかりではない。是は甚だ面白い事で、總て朝鮮では神樣の居る所として森そのものが全體神の在る場所なりと信じて居る。であるから朝鮮では山の木は無暗に伐らぬ。或部分だけは殘して神聖の場所として居る。江原道には森に注連が張つてあります。さうすると神樣の居る場所になつて來る。日本でも杜と書いて木扁に社としたものであります。後には社で殿堂を造つたりお宮を造つたものでありますけれども、元は斯う言ふ風な樹木と言ふ樣な自然の所に神樣が宿つて居るものとしてあります。朝鮮でも古い所に往くと森に神樣が宿つて居るのだとして注連が張つてある所があるが夫れが段々發達して造つたお宮になつて來て居る。是等も非常に巫に關係のあることになる。

夫れから

注連を張る事に就きましても、幣束も行はれて居ります。注連も行はれて居る。此注連も前申上た如く左なひであります。是は斯う振ら下つて居ります。是も幣で捺へたものもあります。或は幣々斯う曲げて捺へて居るものもあります。色々然う言ふ樣な事が日本の古い風習と矢張り似て居るのであります。是等も矢張り巫に關係する事であります。夫から朝鮮の方では一家に於ては然う言ふ風に致しまするけれども村の入口等には矢張り天下大將軍と言ふ鬼の顏見たいなものがのりますが、近頃はやりませぬがあれも是と關係があります。

一年の或

る時期には注連を張る。矢張りムータンに關係して居るのであります。斯う言ふ樣な話がまだ他の方のお話がありますから、餘り長い事は申されませぬが、要するに朝鮮の巫を通じて見まするを、是に伴ひまする所の風俗習慣が日本の神道に於て非常に關係ある事に見られます。斯う言ふ意味を辿つて往つて、朝鮮と日本とが古い時分にはどうしても共通點を持つて居つたものと見られるのであります。どうしても別個なものと見る事が出來ぬので、日本に於ての斯う云ふ風俗習慣があり、朝鮮に於てもある所の見ること是は

佛教儒教

が這入つて、夫れから段々に朝鮮の方から進んで來たもので、而して今言ふ巫とか知識の階級が下にある者が是を信じて居りましたけれども昔は決して然うではなくして互に共通の精神を有つて居ります。夫れであるから朝鮮文化の研究に對しても自ら二つに分れるのでは斯うして進んで來た今日までの事を研究し、將來如何にすべきかの問題であつてモウ一つは朝鮮の古い民族性の研究、是は是が惡いとか善いとか言ふ樣な批評をすべき性質のものでない。民族の固有、祖先以來有つて居つた所の風俗習慣であるから、是れが佛教儒教が這入らぬ前には、如何なる狀態であつたかと言ふ研究をする。

六十八

奥野他見男

氣が附いた時には已れは廊下に眞逆樣に倒れてゐた、何時の間にか多勢の人が黒だかりに集つてゐた。

『何うなすつたんです？』

已れは夢の樣に、返を見廻した。

『何うなすつたんです、此の家が倒れたかと思ふ樣な大きな音がしたので飛んで來て見ると、斯うでせう』

と、おかみさんは云つた。

『私も今ボーンと云ふ凄ましい音がしたので。あつと思ふてる所へ女中さんが、た、た、大變ですよ貴女の御客樣が』と云ふんでせう。夢中になつて駈け付けて見ると斯うなんですもの！』

『何うなすつたの？』

と、不思議相。已れは漸と半身を起した。

『大丈夫だ心配するな』

と、無理に笑顏を作りながら起上らうとすると

『オヤ貴方頭腦から血が出てますよ』

と、敏子さんが云ふ

『血が？どこに？』

と、誰かゞ覗いた。

『ホラ』

と、敏子さんは已の頭腦の所へ指を遣つた。

人々は覗いた。

『まア大變だ。あんなに切れてゐる、穴が明いた樣に切れてゐる』

『早く何うかしなくちや』

口々に皆樣は云つた。已れは餘りワイ〳〵云ふので、試みに帶をあて見た、見た、血がベットリ附着して來た。刹那『あゝ帝國ホテルの大夜會に出席出來ぬか知ら』と一種異樣の情なさを感じた。帝國ホテルの大夜會に出ることは一ケ月前から樂みにして待ち構へてゐたものである。夜會服とエナメルの靴に身を堅めて、晴れの大舞臺に內外貴顯の間へ交つて踊つて踊つて踊り拔かうと思ふてゐたんだ。殊に此の大夜會は先達ての如き小規模のものとは違つて、新聞には早くから豫告され、名ある人士が待ちに待ち構へてたものであつた。已れには瞬時も此の華やかなる舞臺の歡樂を忘れてることが出來なかつた。晴に自らの態度と容貌の他に比して劣らざるを示さうかと汲々たるものがあつたのだ。少くも『あの人が他見男さん？』と反問されるその『他見男さん』なる者を豫期以上に見せたかつたのだ。それが此の深い傷の爲めに出席不可能を宣告された樣な氣がしました。

『傷は深いですか』

『深いんですよ、奧の方に骨が』

『しツ、そんな事被仰るものぢやありませんよ』

と、おかみさんは若い者の言を打ち消して。

『なアに大した事は御座いませんよ。大したことは御座いませんけど、早く醫者へゐらつしやらなくちや』

この言葉が已の胸にハタと來た。

『顏に一寸鏡を見せて下さい』

『鏡なんか御覽にならない方が好う御座いますよ』

『いゝわ參考の爲めに一寸見て置きたいのです』

と、何うしても見なくちや承知せぬと頑張つた。女中は慌て鏡を持つて來た。それを受取るや已は帝國の興廢の樣に寫して見た。倫敦頭腦の中央部にツツミ一寸餘り横に切れて血が四邊を物凄く染めてゐた、

『何うです、ホンの僅でせう』

と、俺を氣落ちさせまいと、おかみさんは云つた。あゝ帝國ホテル帝國ホテルと帝國ホテルの事ばかり思ひながら、一面邦子さんや、敏子さんの前で如何にも勇敢を裝ひたかつた。已は

『なアに平氣だよ』

と、淋しい笑ひを以て云つた

然し怖ろしさと痛々しさの不安は何時迄も止まなかつた。

『兎に角早く醫者へゐらつしやらなくちや微菌でも入つたら大變ですよ』

と、口々に云ふ。

『頭腦が痛いでせう、今日はお泊りになつてヂッとお寢みになつてゐらしたら何うです、私奧樣の方へ電報を打ちますから』

『いゝわ歸ります』

『だつて汽車の中で振動したら若しや……』

『なアに』

と、心强さうに云ひながら。

『この儘にして歸る』と云つた

『不可ません、そんな事をしては血が出て來て……オヤお顏の色が惡くなつて來ましたよ』

勇敢なる已れは卑怯らしく思はれやしないかと此言葉が氣に入らなかつた。

『痛むでせう……』

『いゝや、血か澤山出ますか』

『いゝえ、もう止まつた樣ですよ、少しづゝにじみ出てはゐますが』

本紙定價　前金一部金五錢
廣告料
發行兼編輯人　泥谷良次郎
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社　電話長六千九番、長六千九番二　振替京城三〇〇番

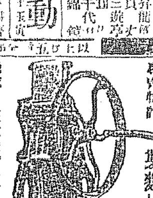
娯樂世界九月號
神出鬼沒捕物揃ひ
探偵詭話 嗚海の浴衣
昔心の家 寶劍の行方
探偵 珠數つなぎ
探偵奇談 地下室の大賊
滑稽 白子屋騷動
大名の廓通ひ
寬永御前試合 忘年會の夜
奇傑ヒョット齋
國定忠次 代官屋敷斬込み
寬永怪談 高坂甚內の捕物
老僧の自殺 日記の秘密
小說 生る骸
家庭小說 吹けよ嵐
探偵實話 死首無女
探偵奇話 毒婦の秘密
支那酒探偵
捕物奇談 雜木林の家
佛國探偵奇談 座敷借の女
探偵小說 突發怪事件
奇談 愚圖八殺し
歷史小說 幻御殿
三助の一念
西田絞
寶茶亭の賊
長篇小說 戀人魚
大懸賞募集
娯樂世界社

新法則增補五版出來
學理と實際の聯鎖を謀り世界に未曾有の科學的秘法
株式期米蚕絲 六知法寶鑑
相場經濟學の大權威者 岡田六知先生 苦心の名著
經濟界盛衰循環の軌路を明確に豫定し是に伴ふ定期場の大勢中勢日先と三段に區別して高値安値何日何錢の算數的に測り要所高下變化日迄何人にも正確に觀測すべき秘法を教へたる斯界に一大驚異と奇蹟を示したる金儲の寶典近頃世に廣告のみ立派に内容無効の書を賣る者多し玉石同視せず飽迄六知法に信賴して資産を增殖せられよ
本書に優る祕書他にあらば百圓進呈
本書內容無効ならば即時返金す
特價拾圓
發兌　信告社
成功致富の參謀

九月歷史譯號出來
飛行少年
平家滅亡 清盛の最後…大西貞治
悲壯 四條畷…柿沼秀水
哀話 夜あらし…平尾白萍
悲劇 復讐の前後…野田虹年
豪傑 荒木又右衛門…水野光一
滑稽 床下の下駄…松本芳山
秋季特別大懸賞募集
伏魔殿…柿沼秀水
日本飛行研究會

最新刊
社會改造の原理
歐米教育の印象
現下の農民運動
海の文學
光の中に步め
人生論
大阪屋號

製麵機械
麵機專門製作販賣
眞崎麵機店



婦人世界九月號
怨みと憎み號
深刻なる女性心理の映寫
愛する母上を發狂さした憎き我が父
四十四歲の女先生に良人を奪はれた深怨
兩親を憤死せしめた骨肉の兄を怨む
私を蔑にした高慢なる同窓の彼女を憎む
弱い女を欺いて金を捲上げた主人を憎む
愛する良人を誘惑した彼女に對する憎惡
怨深い女の心理研究　高島平三郎
怨みと憎みから見た日本の婦人　前田不二三
大西鄉の嫁御の零落
妻を怨み人を憎んで佗住居する西鄉侯爵夫人
西鄉家からは離籍され實家の骨肉とは法廷で爭ひ四面楚歌の大悲劇
宮家から降嫁せられた二荒伯夫人と直話
愛憎一切を忘れて彌陀の信念に往生せる山田憲の最期
憎怨感の表情
當世男やもめ列傳
靈齋式鑑別法 體質と性癖は腹を見れば分る
主婦の讀み物
臨原式新裁縫術
梅酢から發見した新藥の効能
驚く程不可思議極る奇談
長篇小說 三代地獄　小杉天外
長篇小說 錦紗　岡本綺堂
一冊四十錢
實業之日本社

七月號出來
活動俱樂部
活動俱樂部社

職業
拾五圓迄
三見本店

[illegible]

軍備意見を附して近々

正式回答を發せん

閣議に附議決定の上

【東京電報】亞米利加の正式請待に對して我が國は無論異議なき所にして近々正式回答を發すべきが亞米利加の請待には軍備制限に關し長々しき意見の開陳あり我が回答も通り一遍の承諾回答とせず贊成意見を附したるものとすべく目下外務省にて起草中なれば十七日原首相の歸京後閣議に附議決定の上發送し同時に發表すべし

正式請待狀中に

不穩の一句あり

【紐育十三日發電】米國國務卿ヒューズ氏が發したる正式請待狀の文句中に「曾て爭議事項たりしもの又は現に爭議中なるもの」との一項あるが華盛頓にては之が解釋につき種々の論爭を醸しつゝあり國務卿は之に關して全く沈默し居れるが然し憂慮すべき筋にては米國政府が外交的に結末のつきたる問題を討議せんと策し居るにはあらざるも若し右文句を嚴格に解釋すれば米國政府は既定問題を再び問題とせんと策し居るものと想像せらるゝとなせり

會議基礎項目の

豫備交涉進捗す

【紐育十二日發電】國務卿ヒューズ氏は華盛頓會議に於ける米國首席委員たる事既報の通りなるが此外ノックス、ルート、アンダー三氏の任命は確實となり居れりハーヂング大統領は樂居に在りて各國委員との交涉全部は之をヒューズ氏に一任するも彼ら會議の成行と密接なる聯絡を保ち居れり且つ數問題及び基礎項目の件に關してはヒューズ氏と各國外交官との間に連日交涉中にて進捗を遂げたる模樣なりとは如何なる事項が既定事實なりや又如何なる事項が特殊國間の特殊關係なるやを發見せんとするものにて之は勿論困難なりと雖も官邊に於ては此の問題は兩者を分離する事は難事ならずと樂觀し居れり

帝國陸軍代表は

稻垣中將ならん

【東京電報】陸軍省にては尾野次官を中心として連日太平洋會議に關する準備會議開催中なるが會議に出席すべき陸軍代表に關しては山梨陸相の歸京を待ちて決定發表を見るべきが目下噂高きは中島正武中將（第二師團長）志岐守治中將（第十六師團長）稻垣三郎中將等なるが師團長を之に赴かしむるは種々困難あるを以て參謀本部第二部長田中少將を派遣すべしとの說あるも海軍との權衡上結局は稻垣中將に決定すべきか同中將は目下伊太利にあつて國際聯盟の事情にも通じ居れば最適任者なるべし

米國代表の顔觸

【紐育十三日發電】聞く所によれば華盛頓會議參列の米委員は國務卿ヒューズ氏前國務卿上院議員ルート氏上院外交委員長ロッヂ氏、ハワードスザランド氏財源調査委員長のアンダーウッド氏の五名なりと

英國首相出馬說

【倫敦十二日發電】確かなる筋にて傳へらる、所によれば英國首相ロイドジョーヂ氏は多分自らワシントン會議に列席すべし

支那大總統宣言

華盛頓會議に對して

【上海十五日發電】徐世昌氏の華盛頓會議に對する宣言は十七日發表せらる、答なるが首文左の如くなるべし

「米國大統領は華盛頓會議開會につき我が政府に對して之が意見を求めたるより我が政府は之に參加すべき旨返答したり此會議は我れに益あるを以て國民は必ず贊成すべし中國元より平和を宗む而して歐戰後の形勢は太平洋を重んずるに至れり中國は太平洋上に位し且つ國際關係の紛爭するもの多し右にして根本的解決を計るにあらざれば更に甚だしき紛爭を來たすべし云々

營口通信

▲參期の粕及油特定運賃　滿鐵にては豆粕及豆油の一時假[illegible]迄を特定期間とする旨を一昨日の社報にて發表せり。因に從來は五圓[illegible]錢なり今回の新運賃に[illegible]て粕一枚に付[illegible]三厘方運賃の[illegible]

[illegible]に本店を置く當時數年間古川商[illegible]決するに至りしが如きが確て本[illegible]の社[illegible]この間に密接なる關係あ[illegible]件に就て仁泰の依頼を受け居りしが其結果は遺憾ながら古川[illegible]し辯護士碓井水城氏は昨夜當地[illegible]本社との間に諒解を缺くに至り京城を經て古川本社に最後の[illegible]

[illegible]行委員十名は領事館に或は行政委員に陳情し[illegible]委員會議長は一昨日午後一時借地人代表者の來會を求め確て要[illegible]せり代表者は滿足して散會し[illegible]夜借地人一同に對し報告會を開けり

▲京油近來の盛況　豆油は先月[illegible]三圓六十錢を呼びしが其後漸落し昨日は十二圓見當なりしが當地に於ても七百萬斤程の買[illegible]見込來るなり[illegible]

[illegible]午後八時半より忠淸南道公州普通學校庭に於て公開[illegible]映寫せしが拜觀者五千內鮮人の[illegible]別なく[illegible]に多大の感動を與へ[illegible]

[illegible]は十五日午前八時より第一[illegible]小學校庭に於て執行されたるが引續き十六、十七、十八の四日間にて完了すべしと

[illegible]（二名）安井榮、北田暖雄、岡本德次郎[illegible]

支那の提案議題

【上海十三日發電】米國の太平洋會議加入請待に就きて支那は平等列に參加を乞ふて承認を得たるを以て現に政府は門戶開放勢力撤廢を期し領事裁判問題及山東問題等の觀を提案せんと爲しつゝありと

露債倫敦で思惑買さる

【倫敦二十日發電】永ひ間無價値のものとされ居たる露國公債は今回澤山倫敦に持ち込まれ額面十分の一の價にて取引されつゝあり右は勞農政府が公債償還の意を仄かしたる結果による思惑買なり

シレシア出兵問題別報

【華盛頓十二日發電】最高會議は上部シレシアが國際聯盟理事會により歸屬を決定せらるゝ迄同地に軍隊を增加するに決定せりと

シレシア問題解決の爲

聯盟理事會召集

佛の意見退けられん

【紐育十三日發電】駐佛日本大使石井菊次郎子は聯盟理事會長として八月二十日シレシア問題解決の爲め聯盟理事會を召集するならん而して佛國首相ブリアン氏は聯盟理事會にて諸國一致の決議には敢て反對せざるべしと言明し又今日佛國側は最高會議に於ける佛國失敗を認め英國首相ロイドジョーヂ氏にして氏の得意になりて宣言なしたる如く日伊兩國は最高會議にて英國の主張を助けたる有樣なれば聯盟理事會の問題となりても默目なる佛國の主張を退ける決議を爲すならんと思ふとロイドジョージ氏は佛國は實に度し難く頑迷なりと忌憚なく言ひつゝあり佛國首相ブリアン氏は決議に服從するべしと宣言せり

流石のレーニンも

共產主義を抛棄

【紐育十三日發電】タイムス、リガ通信員の所報によればレニン氏は共產主義を抛棄したり卽ち彼れは莫斯科八月九日附公報に其の名を記し國家的事業の意義ある一定數の大工業以外一切の國有を廢し鐵道郵便其他公益事業に對する各個人の投資を再興せしめん事をはかれり

勞農政府顚覆說

齊多にも反政府軍起つ

【上海十四日發電】十三日露國無線電信の報ずる所によれば莫斯科に於て反政府國民軍はコンミサル等を逮捕したるが其內には探偵局總長チエンバーへスカミあり斯くて勞農政府は顚覆し國民軍政府は組織されたり又齊多に於ては市民蜂起しコンミサル（此所にては政府委員の事か）は悉く之を逮捕し一家に押し込み放火して燒き殺せり其內二名は逃亡し逮捕を免れたり齊多赤衛軍は市民に加擔しウンゲル軍はイルクックに進入せり同軍討伐のために派れる軍隊は全部ウンヂゲル軍に投降せり而せミヨノフは十日浦潮のメルクロフ政府に全然服從すべき事を發表せりとあり

支那兵佛汽船を砲擊す

【東京電報】某所著電、八月十日早朝宜昌より重慶に向け出帆の江慶號（蔣法郵船局所屬、船長米人コック氏佛蘭西國旗を揭ぐ）は峽頭にて二三百名の支那兵より凡そ三十分間に亘り猛烈なる攻擊を受け死者二名負傷者八名內重傷四名を出せり

排日的英米提携

【紐育十三日發電】エドワード、イーグー氏は英首相及自治植民地首相等の署名せる五通の陳述書を國務卿ヒューズ氏に提出したりおは何れも米國に對する切實なる友誼の感情を披瀝し英米の提携を唱道したるものなり右の內濠洲首相ヒューズ氏の署名したるもののみ發表されたるが一種の排日的運動と思はるべき節合のものなり

東京で鮮人のため

人事相談所開設

その效果を期待せよ

【東京電報】朝鮮人の內地渡來者は最近に至つて俄に激增の傾向あり東京市內のみにて現在學生は一千八百名其他勞働者及び普通人一千餘名に上り居るので警視廳は曩に同廳內に鮮人課を設置して指導取締方法を講じ居れるが一方朝鮮總督府側に於ても移住者增加の傾向顯著なる事實に鑑み之れ等指導誘掖に力を盡し方法を講じ居れるが過般小澤參事官を東京出張所の主任と爲し之れに屬官並に囑託八名を附し專ら留學生の指導を初め職業紹介失業者救濟等一般在留鮮人の人事相談所を開設することゝなつた以來朝鮮留學生の歸還者が殆ど例外を除き排日思想を抱けるに至れるは蔽ふべからざる事實であるがこれは全く指導機關の缺如せる結果であると云ふも過言でない其の影響又決して輕視することが出來ぬので此度總督府の新設も必ず相當の効果を擧ぐることであらう

佛支秘密借款取消要請

【上海十四日發電】廣東國會は十二日附を以て佛國に左の通り警告を發せり

北京政府徐世昌は學位授與の返禮として貴國に五億法の秘密借款をなしたるがこは民意に反するものにして兩國の友誼を阻害するものなり故に貴國は宜しく同借款取消方盡力せられたし

聯盟總會帝國代表任命

【東京電報】十五日左の通り發表あり

特命全權大使　男爵　林權助

同　子爵　石井菊次郎

同　安達峰次郎

瑞西國に開催の國際聯盟總會第二回總會に帝國代表被仰付

駐伊大使罷免

【東京電報】十五日左の通り發表あり

特命全權大使　伊集院彥吉
伊太利駐箚被免

大使館參事官　諸井六郎
伊太利國在勤被仰付

議員行賞發表

【東京電報】上下兩院議員に關する行賞は既報の通り十五日官報にて發表されたり

法規整理委員會設置

委員長は水野政務總監

今回總督府に水野政務總監を委員長とする法規整理委員會設置せられ和田、守屋、篠原各參事官、澤田監察官、半井務官を委員とし張間欽原兩參事官を幹事に任命せられたるが右は既に不要に歸したる法規等を整理し或は多少の改正を加へ權限の移管を行ひ以て煩雜なる法規を出來得る限り現に必要なるもののみとし事務の簡捷を圖らんとするものなり

國境方面は

豫想以上に平穩

松井博士語る

講習生百二十餘名を連れて鮮內各地及び奉天大連等の國境方面を視察中なりし松井茂博士は途中にて講習生を內地へ還して十四日夜入城せるが其視察談に曰く

感想は各方面に亘つて幾等でもあるが就中國境方面の平定は豫想以上であつた平安南北兩道は最も調節に力を盡すべき所であるが幸ひに現在平安北道知事は鮮語に巧で其勞を吝まず東奔西走して鮮人と接觸し施政上の事も鮮語で說明するから能く徹底して鮮人側も大に感服して居るまた警察部長も骨を吝まず東奔西走能く其職に盡す人であるから誠に都合

能く治まつて 居る、昨年頃までは不逞鮮人が相當あつたので取締上非常に困難であつたソーだが本年に入つては全然其面目を一新し些一人として不逞の行爲に加祖する者なきは勿論若し不逞鮮人が潛入する樣な事があれば直ちに密告するから取締上甚だ便宜で總て害惡を未然に防ぐことが出來るから

頗る安定を 得て居る國境對岸方面では日本總領事館の事務官等に親しく接して現狀の詳しい事も聽いたが支那官憲とも力を合せて萬事良好に進みつゝある現況である國境警察に於ても最も注意を要すべきもので新義州方面表口は將來發展せしむる必要上土地其他萬般に安固を與ふる事に努め將來、益々支那官憲と提攜して發達を遂げる必要がある、ソコで近き將來に滿鮮警察を合せて東洋警察協會を組織する必要がある、これは獨り滿鮮の爲のみならず內地との關係上東洋の

平和を維持 する爲め是非共必要があるのである。朝鮮人を了解することが急中の急である」と云ふ一事である。これは一日一時間も忘れてはならぬ是から大邱では『警察と民衆』と題し釜山では『釜山將來に就て』と題し講演をする朝鮮は黃熱の傳染であるから到る處關係者の鮮知人があつて此人々と接する事は誠に愉快である、十五日は鮮人側から招待を受けまた李王家から午餐を賜はり夜は軍司令官からの招待があつたこれ等は特に深く感謝する次第である云々

局部長會議

十六日午前十時より總督府第一會議室にて定例局部長會議を開き總督政務總監以下各局部長出席せるが西村殖產局長より產業調査會開催準備に關する報告あり其他諸般政務に就き審議正午散會せり

產業調査會

委員發表遲延

產業調査會開催準備は意外に遲延し未だ委員の任命を見るに至らざるが目下委員の交涉中に屬する者は內地在住者にて朝鮮在住者に對しては未だ交涉開始の運びに至らずと尚委員は民間を主とする事となるべしと

鮮米代用制廢止は

產業界の大問題

總督府對策を講ず

全國取引所聯合會は十五日を以て東京に總會を開き鮮米代用制廢止に就き決議すべしとの噂ありなりしが果して右の決議を爲したるや否や未だ報道なきが是より先き總督府は若し斯る決議が事實として現るゝに於ては朝鮮の一大問題と云はざるべからず卽ち現に施設しつゝある產米增殖改良計畫に多大の影響を及ぼすのみならず朝鮮產業の大宗たる米穀の移出阻止せらるゝに於ては延いて

朝鮮統治の上にも 影響する所少からざる障害を及ぼすを以て右總會開催に先立ち農商務省、穀物聯合會東京取引所等へ電報を以て右に對する對策を講じたるが昨今に至り地方より總督府に對し對策要望の電報を寄する者多々ありと

西村局長談

右に就き西村殖產局長曰く鮮米取引代用廢止は若し事實に現るゝとすれば朝鮮としては由々敷き產業上の問題である昨十五日を以て右總會は東京に開かれた事となつて居るまだ其の結果に就ては情報に接して居ないが當局は之れに先立つて右決議を行ふべしとの情報を得たので夫々關係諸方面に對し手配を行つて置いたので先づ之を阻止し得らるゝ事であらうと考へて居る內地は二年續きの豐作の結果今日では剩餘米を持つ樣になつて却々農民或は當業者の思惑通り米價の騰貴を示さないので他から移入される

米を阻止し 樣とするのであるが食糧の如きものは一年や二年の作柄に依つて將來が支配されるものでなく今日鮮米を虐待せんとして明日は哀訴之れを入れなければならぬ事となるかも知れぬものである現に先年米不足の際には朝鮮米を歡迎し內地以外の輸出を止めん事まで交涉し來つた事もある位である鮮米代用廢止の如きは內地の爲めにも執らざる所である

全羅北道近況

石川警察部長談

全羅北道は人心安定頗る平穩にして何れも文化政治を謳歌しつゝあり前知事李軫鎬氏は在任久しかりし丈けに種々の計畫を爲し高等農林學校設立の前提として今回裡里に甲種程度の

農學校を 設置することに決定し過般來之が寄附金を募集中なりしが既に十五萬圓の多きに達したるを以て遠からず開校の運びに至るべし又群山の附近にある靑島に於ては新に乞食の收容所を設置することに決し之が費用約五萬圓は目下道內より募集中なるが彼等の仕事としては藁細工又は漁業を行はしむべく差當り

道內の乞食 全部を收容し追々には朝鮮全道の乞食を收容して彼等に生活の安定を得せしむる方針なるが道中警察事故の最も多きは詐僞取財等にして強盜も亦少からず詐僞取財は近來著しく增加したるのみならず其の手段方法も又巧妙を極めたるもの少からず過般郡廳の屬をして居たる

青年鮮人は 在職中土地臺帳を僞造し架空の名儀人を造りて他人の土地を移轉せしめ之を內地人に賣却して約二萬圓を詐取したるが是れ等は詐僞取財として最も巧妙を極めたものと云ふべし云々

平穩か不安乎

宮手生

▲近時朝鮮統治に關し是非の論を爲すもの少からず、甲は朝鮮の現狀を目して平穩なりと云へ乙は平穩にあらずして不安なりと斷じ。兩者各其の見解を異にするは、頗る面白き對照也

▲平穩なりと云へ、平穩ならずと云ふも、要するに程度問題也甲が平穩なりと云ふは甲の見解なるべく、乙が平穩ならずと斷ずるは乙の見解なるべし。然れども眞理は一あつて二なきが如く、朝鮮の現狀は平穩。不安何れかに決せざるべからず。

▲朝鮮の現狀。果して不安ならば云ふ迄もなく甲の見解は誤り也。併しながら朝鮮の現狀實際不安ならずとせば不安なりと斷じたる乙の見解も亦誤り也。朝鮮の現狀果して奈何。

▲是を當局者に糺せば、頗る平穩なりと答へ、更に第三者に問へば、先づ平穩ならんと云ふ、吾人は必ずしも當局者の言を信ずるものにあらざれども、是を大勢の上より觀れば、朝鮮の現狀は大體に於て平穩なりと云ふを得べし。

▲他或は云はん、朝鮮は絕へず不逞鮮人出沒し金錢物品の掠奪を爲すに非ずやと、然れども斯は國境方面に於ける一小部分にして朝鮮全道にあらず。況んや是等不逞鮮人も近來警察の嚴重に出沒せず、良民の被害も亦極めて少しとのこと也。然も一小部分の出來事を以て、朝鮮全道を律するは餘りに酷評なりと云はざる可らず。

▲平穩なり、平穩ならずと云ふは、要するに程度問題なるも大勢の上より觀察して、平穩なりと云ふて、何等の不安なし。些々たる事件發生したりとて、直に平穩にあらず不安なりと斷ずるは、早計も亦甚し。

▲世には攻擊せんが爲めに攻擊するものあり。卽ち攻擊すべき理由なくして攻擊するものの如き、現內閣を攻擊する政友會が現內閣を攻擊するは必ずしも確乎たる攻擊理由あるにあらず。自黨の立場と政權爭奪の爲めに、攻擊する場合少からず。

▲朝鮮統治に關し、攻擊するものあり、贊成するものあるは、畢竟其の立場を異にすれば也。攻擊新聞の攻擊理由亦自ら明也。

在滿鮮人の救濟

矢島總督府社會課長談

矢島總督府社會課長は約二週間滿洲方面視察中なりしが十五日歸任語りて曰く

近時在滿鮮人救濟の聲が隨所に叫ばれつゝあるが如何なる程度に救濟を要するものであるか其實際に就て多少見聞し置くの必要があるので閑を得て一般視察を兼ね巡覽して來た位の事であつて滿洲に於て唱へられて居るが如き何等別個重大な任務を帶びて居る譯では無かつたのである在滿鮮人保護に就ては領事に一任され內地人同樣一律に帝國臣民として保護されて居るのである一時滿洲が一の樂園の如くに吹聽せられた時代があつて空手空拳赴けば

必ず成功を 收め得らるゝもの、如くに考へて盛んに移住した結果今日では隨分最初の思惑と違ひ困難狀態に陷つて居る者もあるが之等は全く當局者として處置に困難を感ずる者であつて或は朝鮮へ歸國せしめ在來の生業に就かしむるか適當に職を與へて衣食の道を講ずるかと云ふ事は夫々適當に考慮せられなければならぬ事であらうと思ふ總督府も本年度在滿鮮人撫育費として二十四萬千八百六十餘圓を計上せられてあるがこれは

奉天總領事 とも協議の上諸般の施設に關する補助に充てらるゝものである卽ち醫師の設置教育機關等に對し必要なる計畫と其範圍に於て施設の援助をする事となるであらうと思ふ目下總て研究調査中に屬する事である一般在留鮮人も支那官憲に信頼し得られざる結果我官憲を頼む事厚く種々の希望をも陳べて居る者もあつたが要するに

滿洲は接壤地 であり開拓の餘地も多く朝鮮農民も適當に之事に從事せしめ產業の開發を計る事は或は自然の勢ひであるかも知れぬが外國の土地であつて見れば種々問題を惹起し易い樣である

擔保を提供すれば

出港稅の免除が出來る

京城局に手續きしたもの數名

朝鮮から內地、臺灣、樺太方面へ移出する特殊の物品にして移出の日より一年以內に移入するものは移出の際出港稅に相當する擔保を提供して出港稅の免除を受くることが出來るのであるが擔保の提供及解除は少からざる手數が伴ふので常に多數の移出者にも移入を要する物品の移出者に取りては頗る煩瑣に堪へざるものであり又其稅額は槪して小額なる爲め擔保には現金の提供を餘儀なくされ金融上無利息關係等に不利もみるソコで

京城郵便局 では此不便不利を救ふ爲擔保制度の便法を採らんとし曩に其筋へ請認せし所此度朝鮮全般に亘つて此方法を施行することゝなり其結果從來は出港稅の免除を受けんとする者は其稅金に相當する擔保を金庫に供託しまた其物品が再び移入されれば供託中の擔保を取戾す爲に再度金庫へ出頭するの面倒ありしも自今は一定の金錢又は國債證券を豫め金庫へ供託して其受領證を自分の便宜とする郵便局所へ差出し其擔保額の範圍內に於ける

擔保の提供 又は解除の事實に對しては只其郵便局所に屆出づれば移出中の擔保を提供したる事實證明書に依り擔保元帳に受拂の登記をして常に其殘高を明かにして置けば事足り何時にても自己の口座の擔保の統計を閱覽することも出來國債證券を充用すれば利子が附いて居る上に金融上にも利益あり又一々擔保の受渡及金庫へ往復する等の煩もなく頗る簡便の方法である已に十五日までに京城郵便局へ此制度取扱の申込を爲したる者數名あるが何事も

簡便を伺ふ 現代なれば多數の再移入品を取扱ふ向は早速申込んで利用すべきである尚前記出港稅の免除を受くるを得る品物は左記の通りである就中第一の織物が最も多數を占めて居る實況にして自然其當業者たる吳服屋染物仲介者等が有便法の第一利用者であらう

（一）加工の爲移出する物品にして朝鮮總督の指定したるもの卽ち漂白、色染、捺染又は友禪染の爲移出する織物（二）學術研究の爲移出する物品（三）試驗品として移出するもの（四）注文取集の爲移出する見本（五）博覽會、展覽會、共進會又は品評會等に出品する爲移出する物品以上

國境郵便狀況

近藤副事務官談

近藤遞信事務官は此程開始の咸興惠山鎭間郵便物の自動車遞送狀況視察の爲め同地方へ出張中なりしが十四日歸任其談に曰く

惠山鎭出張の序を以て對岸の長白府へ渡り一般の狀況を視察したが長白府は昨年馬賊三四百名現れて市街の半分を燒拂はれた有名な所であるが、同地方に於ける支那側の警備が無力である爲め郵便機關の活動は殆ど話にならず長白から安東までの郵便が三、四十日を要し長白から對岸の僅一里を隔てた惠山鎭までの郵便物が實に四十九日の日子を要した位な滑稽な事實もある鴨綠江を境して

對岸の支那 は到底話にならぬが反對に鮮內沿岸の警備は頗る行屆いて些の不安もなく郵便の如きは對岸の方から皆鴨綠江を渡つて鮮內の郵便局を利用しつゝある、在長白府官吏の俸給も長白府へは送らず惠山鎭まで送つて留置にするといふ狀況である。鴨綠江も同地方は徒涉が出來るので對岸から渡つて來るのも雜作はない、ソコで皆コチラの郵便局を利用する

長白府方面 の物資も八割までは日本品で支那其他のものは僅二割位のものである今後何とかして日支合同して郵便機關を完全にしたら相互の爲め頗る便宜であらうと思ふ。殊に支那側の便宜は莫大なもので現[illegible]

茶話

大阪朝日に一人太平洋會議一件で朝鮮獨立團が活動を揚げる後押でもあるまいが昨今突米新聞記者の朝鮮內に入込むものが頻々とか云々の記事が出て居る▲處が事實近頃はこれはと思ふ程の外國記者がやつて來ない、此一ケ月ばかりの間に來たのは僅に二人だけで、一人は若い婦人記者、も一人はジャパン、アドウアータイザーの特派員で、いづれも北京へ行く途中一晚泊つただけである▲亦た二ケ月程前に一人有名な米國新聞記者が視察にやつて來た、此人はチヤールス、エドワード、ラッセルといふ社會主義派の記者で、本國で朝鮮問題について多くの排日記事を讀んで我國に對し激しい反感を抱いて來たのであるが、親しく實際を視察して其誤られたのを悟り、來た時とは反對に親日論者となつて歸つて行き、此頃頻りと我國の爲めに朝鮮問題其他につきて公平の論文を諸新聞に寄せて居る▲軍國主義だと誤ひられて居る日本が社會主義の記者によつて辯護せられつゝあるは面白い事實である▲此人は今年の冬又朝鮮に來遊するそうだ

人事消息

▲村瀨直養氏（十五日發[illegible]）▲宮館貞一氏（群山府尹）十五日[illegible]

辭令

八月十五日附を以て左の如く敍任辭令あり

任朝鮮總督府裁判所書記　橫濱地方裁判所書記　高山[illegible]
敍高等官七等　補高等法院書記長　[illegible]
任總督府道技師　總督府道屬　佐野[illegible]
任總督府道理事官（六等）京畿道在勤を命ず
依願免本官
兼任總督府道事務官　平安南道在勤を命ず　[illegible]

吉松府尹動靜

吉松府尹は事務引繼の爲め十六日午前十時非公式にて來府し前府尹と會同事務の引繼を受けたるが正式の赴任は二十日頃なるべし

齋藤知事赴任期

齋藤新咸北知事は來る二十日午前六時二十分南大門發列車にて元山に向ひ赴任すべしと

松井博士歡迎宴

昌德宮にては十六日〇時三十分より入城中の松井博士を仁政殿に招待せられたるが陪席には李王職より李完用侯、閔丙奭子、[illegible]國分次官、韓昌洙、李中職、末松、近藤、朴の三事務官等列席せり

[illegible]十五日朝入港新羅丸船客一等（十三名）賓相寺貞彥、六田長吉[illegible]

敦賀を起點とせる 横斷航路の將來【下】

復荷不振の原因如何

於元山 敦賀某實業家談

【元山】開航次年以來貨物の激減を來したのは何う云ふ譯かと云ふに一時稀有の好況を示した海運界も歐洲戰亂の終局近づくに及び漸く不況の聲を發するに至り爰に於てか往時稼航の運賃喰ひ的なりし

阪神直通船 も等しく爭奪の傾向を現し種々の有利條件の提供等あり其の結果當航路を利用した阪神商人も漸次其影を沒するに至つたのである。越えて大正八年北鮮農産物不作に次いで財界の激變或は間島騷擾問題等の惡影響を受けて來るに當し少からず鮮內購買力の減退の因を醸し延いて出荷主の極度警戒は甚だしい退嬰的取引に陥つたのが重なる原因であらう併し今や

一般財界も 稍安定を加ふるに北鮮金融昨秋漸に見るの豐作は優に年來の疲弊を醫するに足り購買力增進の結果漸次出荷增加の趨勢を呈するに至つた、北鮮の中部日本及其の以東並に裏日本との捷徑聯絡が既に本航路の根本目的たり使命たる以上雙方當業者の提携に依り彼我有無相通じ本航路をして有意義ならしむるのは獨り船會社の利得のみより打算しての贊辭で無いと思ふ、併し乍ら內地商人の多くは其舊古來の因襲に捉はれ因循にして進取的行爲に出でず在鮮商人の如く銳意新航路の開拓に意を注がぬのは出入貨物の權衡を取れぬのを見ても明白である、ソコデ在鮮商人は指導的意味に依り當航の唯一武器たる時間と運賃の低廉なるを利用し各地原産地より直接取引に依つて

鮮內各地に 普及を圖らねばならぬと思ふ。而敦賀港の背景には大阪は暫く措き是を他方に求むると綿絲布陶磁器雜貨其他有らゆる工藝品に富む日本の工業地としての名古屋を控へ三重縣下の漁網陶器綠茶、靜岡縣下の製茶紙類雙表其他雜貨、東京府下に於ける清凉飲料水、機械工品、麥酒、關東地方の蠶絲或は織物類、岐阜縣下の紙類並に紙製品、滋賀縣下の麻布、藥品製品等の如き

枚擧に遑が 無い、而して如上何れの地よりするも之を裏日本の海岸に求めんか敦賀港を措いて近距離なる港灣は無いのである、是等各地方と現在の鐵道交通狀態によつては比較的渉交通の便なく假に近時研究さるべき資格なく假に近時研究されつゝある舞鶴と比較せんか、是亦敦賀港を經由するの遙に有利なるを斷定するに憚らないのである

精製糖作業開始

朝鮮では始めての試み

溶解能力は一日に八十噸

製糖會社理事 伊吹震氏談

【平壤】曩て製糖會社にて計劃中なりし精製糖作業は設備完成したるを以て愈よ十四日より開始したるが右に付き伊吹理事は左の通り語る

會社もビート製糖ばかりやつて居つては一年の三分の二と云ふ長い期間工場を遊ばさなければならぬ斯くては折角訓練した職工を失ふ虞があるので愈

精製糖作業 を開始する事にした、是が爲め一年を通じ工場が動く事になる。其の成績如何は今後に俟たなければならぬが大體に於て良好の成績を擧げ得る事と思ふ。會社ではジヤワの原料糖を輸入して精製してゐる精製糖作業は此の原料糖を一度溶解して液體とし更に是を骨炭濾過して不純物を除去するので一日の

溶解能力は 八十噸である朝鮮では始めての作業であるが米國も紐育、ヒヤデルヒヤ、ボストン、桑港等の開港地では精製糖作業が頗る盛で而も規模が大きい一日の溶解能力千噸以上の工場はザラにある、甜菜製糖は畑でやる仕事であるから米國のやうに桑港から紐育に行くに一週間も要する處では、

其の中間の 甜菜製糖會社が精製糖を經營せんとするには原料糖を汽車で輸送しなければならぬ從つて多額の運賃を要するから開港地でやつてゐる精製糖に對抗する事は出來ない是が爲甜菜製糖會社では一年の中三分の二工場を遊ばせても運賃の關係上精製糖作業は經營しない會社でもジヤワから原料糖を輸入するもの、幸ひに

水運の便も あるから大して苦痛を感じない要するに精製糖作業開始の爲め年中工場が動けば社員全體の氣分も緊張し從つて折角訓練した朝鮮人職工も失ふ事無く却つて能率を益々上げ得る事と思ふ云々

大連歐洲海運

【大連】最近歐洲航路線は船舶輸出頗る稀有の盛況を呈しつゝあるが去る六日大連出帆のヒマラヤ丸は麥粉雜穀八千二百噸を積出し八月二十日のアデン丸は大豆、豆油、雜穀等七千噸又下旬若くは九月上旬に出帆するアラスカ丸は矢張大豆、豆油、雜穀等を神戸、大連、上海等にて積載すべく十月にはアルタイ丸、十一月にはアルプス丸等も夫れ／＼既に輸出積送り契約成立し居り此處ばかりは相變らず海運界小康を保ちつゝあるものの如し

滿蒙物產陳列場

【大連】最近內地事業家にして滿蒙經濟事情の調査及滿蒙特産物の輸入貿易等を詳細に研究調査を爲す目的を以て來連する者漸次增加の傾向を示し滿鐵當局は是等多數の希望者に滿足を與ふるの設備機關なきがため非常に不便を感じつゝありたるが今回大正十一年度豫算概算編成に際し新築の決定なる滿鐵本社增築建物內に滿蒙物產陳列館を設け滿蒙の生産品は勿論統計書類及地圖等其他の調査資料全部を網羅し滿蒙事情の紹介旁東京の平和記念博覽會に關する事務をも該陳列館事務所にて取扱ふ事と爲すべく目下具體的に研究調査中なり

清州選擧結果

大混戰裡に開票

【清州特電】清州學校組合議員選擧は既報の如く十五日午前八時より未曾有の混戰裡に投票を開始し午後三時締切開票結果左の如く當選せり

三十四票會田篤一郎、三十一票前川泉、山本幸四郎、三十票人見卯七、二十九票伊藤捨治、二十九票小倉直雄、二十八票岡崎進、二十一票中川只平、二十七票中川石松、二十一票大岩節藏、金平の十氏當選せり

內地釜山間無線電話

早晚實現される

相手局設置地は未定

【釜山】總督府遞信局勅任技師岡本桂次郎氏は十四日朝關連絡船高麗丸より上陸直に十時發特急列車にて北行せるが釜山停車場ホテル休憩中叙勳の沙汰に接して往訪の記者に語る

內地釜山間の 無線電話調査の結果早晚實現の運びとなる筈であるが果して相手局が下關に設けらるゝか福岡になるかは未だ決定を見ないが朝鮮側としては釜山に設置さるゝ事は確定の事實である尤も最初は試驗的に設置さるゝ筈で實用に供せらるゝ迄には其の成績如何を見ての上の事である次に釜山局分業內の

釜山秋風嶺間 の工事を終り目下秋風嶺京城間の工事を急ぎ九月迄に竣成の豫定である鐵道局專用の電話は特種機關の專用の爲に設けらるゝ線であるから到底公衆用として實用は困難で借り的の接續利用はむづかしからうと思はれる之が開通の曉は目下の輻輳狀態は緩和される事は言を俟たない次第である』云々

點呼成績良好

【大田】大田に於ける本年の簡閱點呼は既報の通り八月十二日午前七時卅分より第三大隊營庭に於て行はれた、之が執行官は豫の如し船橋少佐で定刻執行官は點呼に對する注意を與へ點呼を行ひたる後二三の質問あり第二集會所に集合船橋執行官更に宗安滿州憲兵隊長伊藤大田郡守の講話あり正午過ぎ散會したさうして本年の點呼を受くべき人員は百八十九名であつたが無届缺席が三名事故缺席が七名であつて點呼を受けた人員は百七十九名成績は頗る良好であつた

江西電燈裝置

【江西】平壤電興會社の計畫に係る平壤鎭南浦間の電燈架設工事の完成を機會として江西郡廳並に同警察署が中心となり同地に電燈設備をなさんとして目下協議中なり因に電興會社に於て各地方の發展上出來得る限り便宜を圖る方針なるも差當り工費の關係上五十燈以上の申込に對し送電裝置の依頼に應ずると

完全燃燒設備

廉價に、送電

【平壤】去る五月より目下據付組立中の平壤電興會社の完全燃燒裝置は平安、大阪砲兵工廠附杉本大尉外數名陸軍省より派遣來壤約二週間滯在し指導する處ありたるが右完全燃燒裝置は無煙炭を粉にして空氣に混じそれを石炭に於て燃燒し發電するものにて低廉なるべく來る十月完成の上は兵器廠鎭南浦其他重なる工場に送電する事となるべしと

取引所同業者大會開催

【奉天】此間から赤塚奉天總領事は株式市場の健全なる發展を圖る爲に奉天交易所の取引開始に關して開原鐵嶺等へ出張し現狀視察調査をせしめたが結果愈十四日奉天交易所主催の下に午後一時から公會堂で開原、鐵嶺、營口、安東の同業者大會を開催し

小崗子海岸埋立

【大連】滿鐵工務所にては電氣遊園下の元電車線路附近の土地埋採り小崗子海岸五箇所の埋立工事中なるが該埋立地は約一萬坪にて滿鐵の十五年計畫に係る西海岸埋立地の一部にて主なる目的は停車場の擴張及び瓦斯作業所の擴張に使用せんとするものなりと

社宅新築決定

土地改良管理計畫

【平壤】東拓平壤支店にては平壤土地改良管理計畫の遂行を發達する目的にて府內南山町府營住宅地約七百坪の地を卜し社宅六戶を新築すべく既に決定近く工事を開始すべく所在の土地四十八町六段六畝十步收穫五六五石に對し積極的に改良管理の實を擧ぐべく計畫中なり

全南から全北へ

堪へ難い惜別の情を壓へて

合尹亥角氏去る

其の車中談に曰く……

【木浦】大正八年十一月就任以來鋭意新政の普及と統治の徹底を圖り殊に騷擾後の思想惡化に對しては之が謬想迷夢を打破すべく他道に率先して文化宣傳班を組織し自ら陣頭に立ちて管內各地に巡講し傍ら醒覺教育に努め交通衛生其他一般施設の改善を圖り以て時代の趨向と民心の向ふ所を明かにし

全南の山河爲 めに光あるの觀を呈せしめたる亥角全南知事は今回突如任を隣道の全北に轉じ告別の爲め十一日我木浦に來る記者は此の日榮轉の祝意を表すべく氏を途中迄出迎へ在任中の感謝並に將來の抱負を叩く氏曰く『いろ／＼厄介になりました全羅南道在任滿一年十ヶ月唯馬鹿に忙しかつたのみで之といつて纏まつた治績を擧げて居らぬのは甚だ慚愧の念に堪へない宛るで貯水池の中を引つ掻きまはしたやうなもので塵芥が

仕事は先づ之 れからまだチャンと下へ沈まずといふ所であつたセメて今後二年も居つたならば今迄遣り來つた仕事も何うやら目鼻が附くやうになるだらうと思つてゐる矢先き轉任の命に接した次第で其所は諒として貰ひたい何しろ轉任當時は例の騷擾につれて地方民心の安定を缺き從つて一般の産業は萎靡不振に陥り一時は何うなる事かと憂慮の情に禁へぬものがあつたが幸ひ官民の一致協力に依り幾干もなくして常態に復し今日にては寧ろ叢茅鬱の纏の山間を去つて艶陽の野原に出でたるの感なきに非ずである

全南は海陸の 物産豐饒なるに且つ交通の便に富み從つて將來發展すべきの事業頗る多く全鮮中の資庫として將來開發せざるべからざる幾多の富源を有するのであるされば在任一年十ヶ月餘は衷心愉快に且つ多大の興味を以て微力ながら道政の衝に當つた譯であるが而も其間大過なく任を完了せしは偏に官民諸君の指導と援助とに俟つものであるは言ふ迄もなき所である而して此間全南の民間有志が諸種の問題につき余に對する

獻策又は陳情 等に關しては常に善意を以て之を迎へ又有志諸君も不滿足ながらも余の意を諒とせられ相互善意の諒解を得て全南の開發に努力盡瘁し將來も一層此の善意の諒解の下に奮闘勇進せんとする折柄突如此の地を去るに至りしは洵に遺憾の極みであるが之も官命已むを得ぬ次第である併し全南と全羅道で同身一體ともいふべきいへ全北といへマッマル處は同じであるから余が例令全北道に轉任すとも余は此の意味に於て全南道の開發進展を祈り否な一面に於ては俱に共に

握手提携して 全鮮中の資庫ともいふべき全羅道の富源の開發其他一般の事項につき一致協力其の實を擧げたいと思ふて居る世人は往々木浦群山光州全州否な全北全南を口にして對敵手地たる如く思惟し相互競爭の結果は延いて個人の感情問題にも及ぼさんかの如く思ふて居るものもあらうだが或はそうかも知れぬ勿論競爭は刺戟を與へ刺戟は向上を意味するから競爭大に結構であるが併し夫れは濫なる競爭でなく武士的の競爭であつて欲しい兄弟的の競爭であつて欲しい兄弟的であるが故に余は叙上の意味に於て

一年に一回か 二回全北の官民有志が道界に會合し相互の親睦を期すると共に一面に於て兩道の進歩發展につき隔意なき意見の交換を爲すやうにしたいと思つて居るが之は是非實現したいものである、幸ひに後任知事は懸意常氏は懸意の長者にて經驗あり全南には曾て參與官たりし經歷あり全南の事情に精通し居れば道民に取つては此上もなき仕合せといふべく洵に同慶に堪へぬ次第である……』と語り終るや氏は窓外低く垂るゝ灰色の夏雲を眺め『之が全南の見納めか、無心の山河尚且

別れを惜しむ もの…如し有心余一句なかるべからず』然として氏の顏を掩ふ記者は透さず『全南の山河は愁色ありといへ全北の山河は裝ひを新にし敦んなり』と云へば氏は直に新な任務を帶して新合尹の來るを俟たる光明を望むが如く呵々として哄笑す。

未曾有の大盛況

【天安】東宮御渡歐活動寫眞大每巡回活動寫眞映畫は天安小學校庭に十四日午後八時より公開す京南鐵道理事の挨拶に續き出京城支局長の開會の辭に次いで岩崎氏の音頭にて君が代の合唱後萬歲の聲裡に映寫し國民教育上多大なる裨益を齎せし因に觀衆は多數四千人を數へ始まつての盛況なりき

少年野球試合

大田木尺グラウンドで開催

待たるゝ哉、次の日曜日

【大田】體育問題は一時も忘れてはならぬ社會的事業の一であらう。そうして此の滑らかな運動を鼓吹するには多大の努力と犠牲の作ふ事は止むを得ぬ次第である

此の運動熱 が比較的一般に諒解せられぬのは甚だ遺憾の極みで熱中するが爲め日常の職務を忘るゝに至り此くに付けて惡影響を及ぼすと云ふのが大なる誤りである、之れ無理ならぬ道理である、果して斯くの如き悲觀すべき運動界を毒するものであるか

左樣の陋習 を一擲し眞正の運動趣味を獎勵し清らかな運動を鼓吹する爲め我が大田支局は大田野球團及び大田實業青年野球團後援の下に八月二十一日を期し木尺グラウンドに於て大田少年野球大會を開催し選手資格は滿十六歲以下の者に限り決定し野球界の爲め少年庭球の少年野球團に依て何れも其の練習を重ね日常の練習に勵んで居るもの也八月二十一日には少年野球は何れも野球に依て練習して居る

期日	八月二十一日午前正八時より
場所	大田木尺グラウンド
選手	滿十六歲以下の者に限る
優勝旗爭奪	大田少年野球大會
主催	京城日報大田支局
後援	大田實業青年野球團、東拓大田支店、大田鐵道野球團

講習會の授與式

【大田】忠清南道主催の大田郡農事講習會は既報の如く八月一日より開催中なりし處講習員何れも熱心なる講習を了し十四日授與式を擧行せられたり午前八時より同十時迄の講習を終へ同十一時より式を擧行し式後茶菓の饗應ありて散會したり

地方集會

●松井氏の講演と歡迎 過般釜山通來鮮中の內務省警察講習所長法學博士松井茂氏は來る十八日京城より釜山に立寄る由釜山日報社主催にて講演會を開催する筈尙本田府尹、香椎源太郎等其他の有志主催にて歡迎會を催す筈（釜山）

●柳澤西郎氏送別會 釜山日報社調査部長柳澤西郎氏は今回京城日報社轉勤に付き十五日午後七時釜山停車場ホテルに於て官民重立ちたる者合同送別會を催せり出席者四十餘名にて商業會議所會頭香椎源太郎氏の挨拶あり柳澤氏の謝辭あり午後九時散會す同氏は十六日午前十時發にて赴任せり（釜山）

地方人事

▲金忠南道知事 講習會授與式に臨場の爲め八月十三日來田翌十四日（大田）

▲原田忠南道財務課長 同上

▲野田同道會計課長 同上

▲番場研一氏（京南鐵道株式會社東京支店主任）本社監査の爲め來天旅館に投宿本月中滯在の筈（天安）

ゴシップ

【平壤】平壤は目貫の場所大和町通りに堂々たる店舗を構へ一時は飛ぶ鳥も落すの勢ひであつた計りの雜貨商杉山商店も主人の心中○○女房雪枝の虚榮から左前となり△三萬圓の負債を物の美事に引掛けて數日前ドロンを極め込んだ▲何でも主人は京城に行く事に千代本を宿坊とし時々京城から女が人目を忍び身を窶し時折京城から女が逢ひに來たこともあり△女房は女房で常に流行物をくめて

演藝案內

喜樂館 本町一丁目 電話九七番 有樂 改 ○來る八月十二日より新映畫提供／探偵劇 實寫 『怪ミ釣魚』 マックセンテナット特作品 ／チャールスムレー氏主演 ／二つく 洗濯日 全二卷 ／日活京城派第一部作品 ／舊劇 五變化菊松 全五卷 ／伊賀流の忍術と父伊賀沼より授りた菊松が痛快なる活躍は近來無比の大ドロ劇 ／壯烈な猛獸を觀る ／新派 灰色の女 全廿一卷の內第九編第十編 恐怖の燭臺 四卷上場 ／日活東京派第二部力作品、 ／新派 はかなき縁 全六卷 ／內野衣笠一派出演 ／愛妹を添ふ罪らぬ妹と背徳の義理の柵 ／『はかなき』終心の間へと涙ぐいじらしの人よ

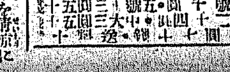
黄金館 黄金町 電話一六三七 ○毎週金曜日○寫眞替○料金普通 ○八月十一日より新寫眞提供普通興行 ／實寫 人形の小冶 全一卷 ／滑稽 ビル君の野營 全二卷 ／澤村四郎五郎一派 ／舊劇 兒雷也 全五卷 ／見雷也の忍術と御存じの如く多くの努力中にも完成せり 四郎五郎の中にも完全部 ／米國パテー社特作ルスローランド嬢出演 ／大活劇 幽靈騎手 第五篇第六篇 ／大冒險の發明（投網）恐怖の懷中時計 ／ドシ‐サクラ（投網）恐怖の發明 ／統波正劇 花の家 ／新派 寒牡丹 全六卷 ／大惡女娘に手を引かれて富家の門に頭を始めた昨日の花は今日の夢今はい身につまされて義理と云ふ字には我れもなやすいまた明に消えに定ては非はいだ此他の名殘に今一度是まで涙の內に云ふ人の知れぬ人の懺悔

大正館 井町 電話八七三 ○日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 ○來る八月十二日より新寫眞提供 ／一寸寫 空 飛行船 長尺 ／一悲劇 感違ひ 長尺 ／○米國フォックス社大傑作 ／大映畫『勝利者』全八卷 ／日活京都派第二部十年度作品 ／舊劇『大久保頓譚』

浪花座 本町五丁目 電車終點 電話二三三八番 ○田村成若一行十二日替狂言 ／『四ツ谷怪談』毎日續き ／切 餘興 新派喜劇 ／入場料 一階五十錢 二階二十錢 子供十錢

○日活東京派日本一派出演 ／悲劇『怖ろしき女』全卷 ／新派家青年の書かける怖ろしき女にからまる一編の哀話 ／十五日日曜祭日晝夜開演 ／○日活京都派第二部十年度作品 ／俠客劇『嵐山花五郎』全二卷 ／男の中の男花五郎が如何に活躍するかを見られよ ／▲日活京都派第二部十年度作品 ／舊劇『大久保頓譚』四卷 ／命を的に富みし彦左衛門が木像に及ぶ達眼、卷は見る人をして思はず抱腹

京龍館 活動常設 練兵場電車通 電話三一一番 ○見よ京龍館の大活躍を特に大寫眞を提供して ／○見よ京龍館の活躍を特に大寫眞提供 ／活劇の散幕の高尚なる物語を提供する ／大映畫 日活京都派尾上松之助一派 ／舊劇 神變猿若……全一卷 ／大活劇 パテー會社 ／實寫 大島 ／河童猿丸 全六卷 ／喜劇 富士トメ噴火山 全一卷 ／尾上松之助中村扇太郎合同 ／大活劇 バーパール 十九編三十二卷 第二十二編 ／トムカートン氏出演 ／實況 乃木將軍明治神宮の思ひ出て 全六卷



オゾーン パイプ

オゾーンパイプにはオゾーン液以外に芳香味の裝置あるを以て之れにより喫煙代用として容易に禁煙し得今日只今明日と云はず何を措てもずく實行遊ばせ

一名輕便オゾーン吸入器は喫煙代用として今や各階級の賞讃を博し櫂利を濟に行く精神を爽快にし渇を醫し鬱氣を消散す登山に海に人集りには必ず携帶を忘れ給ふな

定價	
一號	特製 三圓六十錢
二號	二圓五十錢
液	四十錢
外箱	三十錢
四號	一圓四十錢
特一	五十錢
バイプ	三十錢
サ	三十錢
ク	五十錢
ツ	五十錢

購入せんとさる、方は左に御注意

近來本器の好評盛行の旺盛を狹み所々に類似品を出し權利侵害を恐れヒソカに行商的販賣巡行する奸商有之由に付弊店にては一切外交販賣員を用ひず皆確實なる藥店販賣店にて販賣相成居候に決して彼等奸商輩の甘言を信ぜられざる様御注意願上候 本品は應用する藥液パイプは到底他の模倣追隨を許さざる獨特の方法なるものにして新案登錄權を有するものに付決して彼等の言に迷はされざる樣御注意願上候

特約販賣店

朝鮮京城本町三　特約代理店　高橋盛一、堂分店、三越藥品部
同平壤大和町　特約代理店　東京大阪　小林大藥房
同鎭南浦本町　山岸天佑堂
同群山本町　平田藥舖
同大連市沙河口　黑野活仁堂藥房
同奉天十間房　石川壽堂　大連市沙河口十五號
同撫順千金寨元町　藤田洋行
同大連大街　佐藤晃灣堂
同奉天小西關大街路三　常尾誠昌堂　奉天十間房
同滿洲山東島　森澤商店
同上海北四川路

大阪市櫻宮表次　電話北二〇三八番 振替大阪四〇三九九番
發賣元　合資會社　オゾーン商會

特約取賣店　古賀商會　岡田藥房　鶴原商店　赤木藥店　東京資生堂

一箇年間に煙になす煙草代が驚く勿れ 五億圓

一般人士の反省を促す

一人當一箇年間に平均五十圓の煙草代を消費するものとして我國全人口の千萬人が喫煙するものとせば以上の如き驚くべき巨額を算せらる

喫煙は健康を害し且つ物質の損害如斯明日と云はず今直に禁煙の實行を斷行あれ喫煙代用として本器を用ゆれば確に健康を增進し容易に喫煙の代用として禁煙し得

全國學生諸君は左の全文に注目あれ

喫煙する生徒は其能力劣る

アーカンサス大學附屬小學校長パワー氏は最近各級の生徒中喫煙者を調査した其結果がランカスター氏の『學と校』誌最近號に出づ之を記すれば喫煙の習慣ある生徒は喫煙せざる者に比して智力が二五パーセント劣つて居る結局喫煙の有害なるが明白に證明されたわけで此の統計に於ける喫煙者の數は生徒中の喫煙者に命じて調査させたもので絶對に正確だそうである

怪鮮人東上

自稱上海假政府の外務大臣

内鮮融和の偉大を米國に見せつくる爲めか？

上海假政府外務大臣と稱する怪鮮人金照滲と云ふ者一名の内地人と共に十四日夜急遽下關通過東上したことが判明し大騷ぎとなつたが該鮮人の用向きは太平洋會議に際し日本の裏を攪亂獨立運動の爲めだとも云ひ又某所に發した暗號電報に依ると彼は日本の了解を得て米國が朝鮮解放問題提議の裏を掻き自發的日鮮融和の偉大なるを示し米國側をアツと云はしむべく是れが爲め當路の人々と會見すべく來りし者だとも云ふ（下關電報）

武裝せる不逞團

獨木舟で鮮内へ侵入せんとす

我が警備隊と銃火を交ふ

國境方面の不逞鮮人は一時其影を沒したが昨今に到つて又復其勢を盛返さんと企圖し國境各地の警察署では極力是等不逞鮮人の鮮内侵入を警戒しつゝある所本月十四日平安北道碧潼警察署の警備警官隊が鴨緑江松嶺警戒中同夜十二時頃對岸より獨木舟に搭じ鮮内に侵入せんとする武裝せる不逞鮮人の一隊を發見警官隊と衝突し互に銃火を交へた後鮮人二名を逮捕し引揚げた交戰は一時猛烈を極めたが幸ひに死傷者はなかつた

滿鐵圖書館 大繁昌

貸出しもやる

滿鐵京城圖書館は暑中休暇に入つて大繁昌を極め一日平均百五十名の登館者があるさうであるが最近の狀況について館員は語る

當館は四月以降工學醫學方面の書籍の充實を計り又軍事關係書籍も相當完備したつもりです、朝鮮で發刊せられた書籍も一通り備へました、御承知の通り閲覽室はあまり廣くないので近く館外帶出を實施して汎く貸出しをなし漸次朝鮮線一般に及ぼしこの方面に力を注ぎたいと思つてますそして未だどうも一般に當館公開されて居ることが知られてない樣ですが成るべく宣傳して頂きたいものですと

京城師範 臨海教育團 【第八信】

元山に居るのも今日ぎりとなつた午後一時から本團水泳大會が行はれる午前中は練習や準備で忙しい。晝食は砂濱で濟ます大會の場所は公衆水泳場の隣近き所、四隻の大傳馬は二隻を中央に兩側に一隻づゝコの字形に配置され中央の一隻を來賓席他の一隻には飛込臺を設け兩側の二隻は生徒及び一般觀覽席に當られ舟から舟にて萬國旗を張りまはし二隻の小舟は絶えず陸と來賓席との連絡をとつて居る。何しろこういふことは元山に於ては最初の試みだとかで海に溢迄に夥しき見物を見た。演技はプログラムに依つて順次行はれ一技終る毎に急霰の如き拍手が起つた。第一回式游左よりは紅右よりは白の小旗を持つてる黒帽子を先頭に岸より泳ぎ出て來賓席の前に至りて二列横隊を作り双手を擧げて校長に對つて敬禮。第三回の横游ぎの型第六回手游ぎの型第十二回横游ぎの型第十四回手游ぎの型第十九回立游ぎの型等何れも落ついた演技振を見せて呉た、級外生の水中徒歩競爭は觀客をして腹を抱へしめ片拔手を以て一文字に列をなし游ぎ行く雁行飛込の諸妙技は感嘆措く能はざらしめ、高田教官及び中村生の手足搦みは觀る者をして膽を寒からしめた。二本の花日傘を双手にさしかけて立游ぎせるはさながら青波に紅蓮華の搖曳せるが如く水泳に至りては佐藤教官の達磨高田教官の細波の二字何れも一同を感服せしめた。午後四時總て游技終りを告げ來賓は滿足裡に順次引き取つた。其のあとで一同來賓席に集まり校長の訓示あり十分京師萬歲三唱して閉會解散この日李堈公殿下の黒崎事務官を從へて御臨席ありたるを始めとして、在元中の青木庶務部長、丸山事務官夫人、石原元山府尹、元山毎日の西田社長等各位の御臨席を得たるは我等一同の深く光榮とする所であつた。

日本から米國へ 五千の甲虫が洋行

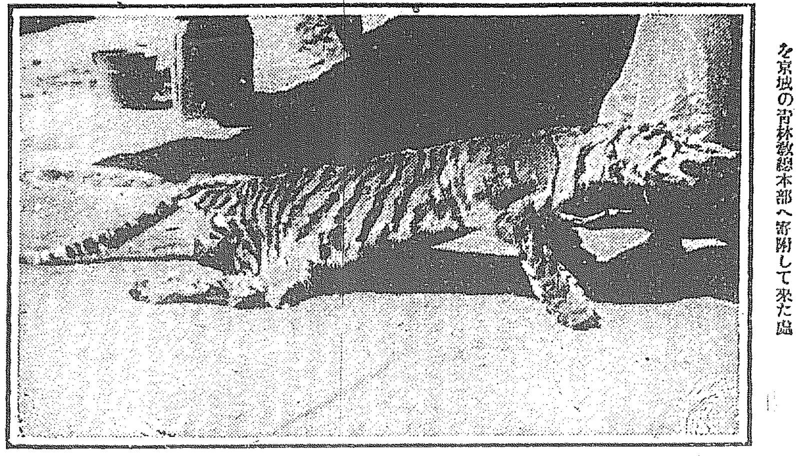
果園に有害な葉喰虫と闘はすために冷藏庫で輸送

五千匹の甲蟲が目下日本からニユウ、ゼルシイのリヴアトンに輸送中である。これは合衆國の東部地方に時々發生して

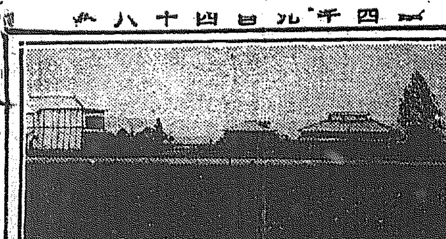
果園に大害を及ぼす有害な葉喰ひ蟲と戰はせる爲に使用されるのである、最近東京よりワシントンに届いた報知に合衆國政府の昆蟲學者で、日本に居て

昆虫を採集して居るシイ、ピイカルウセンミジエ、エル、キング氏とが夫れ等の甲蟲を冷藏庫に入れてタオ丸に乘せたと云ふ事である甲蟲は三保の附近で採集された物で

殘忍な性質のために皆夫れ〳〵別な容れ物に遁れて居る。此種の甲蟲は以前にも合衆國やハワイに送られた事もあるが、決して斯く夥しい數ではなかつた。近い將來に少くも尚は一萬匹の甲蟲が合衆國に送られる事だらうと豫想される



寫眞は本月の初旬江原道淮陽郡の金剛山連峰の一部で青林教徒が昆て獲つた大虎で其の皮を京城の青林教總本部へ寄附して來た處



納涼脚行

儒城温泉

大田附近の納涼地

＝東洋第一のラジユム鑛泉＝

＝附近には名勝舊跡が多い＝

◇儒城は京釜線大田の市街を距る西北二里、自動車で二十分も馳せば達し得る地點にある温泉場である。

◇此處に湧く水は昔から藥水だといつて男手水を混じて飲みまた浴して萬病を治するものとして知られたに過ぎなかつたが偶々明治四十三年頃鈴木松吉氏が趣から私財を投じ手掘を試み遂に大正元年に有力な温泉の湧出口を發見し更に大正三年の交、警務部長服部氏の慫慂によつて株式の温泉會社を組織し温泉場を經營することゝなつて俄に其の名を知らるゝに至つた。

◇爾來設備も著々整うて今では普通湯（浴槽四個）、特等湯（浴槽一個）二棟、家族湯一棟を有し浴客日を逐うて多きを加へてゐる。それも其の筈、ラヂユームを含んでゐることは他の何れの温泉よりも多く東洋一のラヂユーム鑛泉だといはれてゐるから。

◇斯く卓越した泉質であるのに加へて温泉場を中心として多くの勝地古蹟を有つてゐることに依つて避暑かた〴〵史蹟を研究し得るといふ他の温泉地に見ることのできない利便を具へてゐる。左に其の勝地古蹟の一二を紹介して見る

◇儒城温泉から東方へ半里、往昔儒生等の詩興を恣にしたと傳へられてゐる儒城々趾は其頂上約二町の外壁中大田の市街に面して凹んだ所に樓の跡がある。夫に登れば大田佳水院一帶の山河を望み得て得もいはれぬ景趣である。

◇また西方一里の所には忠南第一の峻峰鷄龍山の碧螺丹峰天に聳ね樹木は鬱蒼として嵐を包んでゐる。秋の紅葉時はまたなく人の遊意を唆る。山中には甲寺、蓮山寺、新元寺、東鶴寺など大小の古刹がある中にも甲寺は千五百有餘年前の開基で朝鮮有數の古刹であるから新羅時代の美術の跡を偲ぶに十分であらう。蓮山寺は李太王其の世嗣なきを悲しみ祈願して間もなく皇子を授けられたと傳へ當時の乘輿の模型は新元寺に今猶保存されてある。

◇そして温泉の近くにある七千餘坪の林野は之を公園の豫定地として觀賞樹の植栽に努め其他各種娛樂機關の設備にも腐心しつゝあるから避暑地遊覽地として亦温泉客の無聊に苦しむが如きことなく眞に理想郷化するに至るも遠き將來ではあるまい。切に健全なる發展を祈つて筆を擱く。（寫眞は儒城温泉）

赤煉瓦の家に

罪に悶ゆる女の群

此の酷熱の脅威の下に 毎日十一時間の勞働

西大門監獄の女囚を訪ふ【上】

百名に稍近い現在京城にある女囚の群、當然うくべき罪の報ひとはいへ、此の暑くて日永の夏の日、作業時間も正味十一時間を持つ女囚の夏は又なかくである。之等女囚人の作業ぶりを尙ほ他の模樣をと獨立門外にある西大門の監獄を訪ふたのは燒つける樣な夏の日盛りであつた先づ嚴しう包圍されたる煉瓦塀の獄裡の門鐵扉をくゞつた時再度の訪ひではあるもの、忽ち襲はれたのは所謂監獄氣分、場内を吹く風さへも何處かに生氣のない冷た相な氣分が漂ふて、如何に見ても普通人間の住む娑婆とは大分異つて見ゆる。獄内は今が一年を通じての最も繁忙期、朝の六時から夕べの六時まで正午一時間の休憩時間をおいてはすべてが作業の時間である。元來獄内生活は普通娑婆生活とは大分趣きが異つて一般に女の仕事と型づけられてる縫方に洗濯等は男囚の二千以上も有する此の大生活では到底女の手では間に合はず。すべて男囚の監獄範圍に屬し、女囚の仕事はたゞに裁縫に因んだもの計り。そうして其裁縫も二千數百名の男囚の需圍から寢服罪衣、足袋に至るすべての者でなかく容易でなく、昨今は專ら二千數百點の需囚の洗濯やら縫ひ直しの眞最中で、獄門這入るとすぐ左側に今一重の堅固な煉瓦塀以て圍まれた煉瓦建物の工場には數臺の網打機械が据わつけられ九十名の鮮女囚と八人の日女囚とは何も等しく見えからにまはし氣な感じを誘ふ赤茶氣た獄衣を纏ひ嚴重な監視の下に夫々の仕事に働いてゐるが、實に此處に到れば法律の偉力を沁々思はしめるもので斯くして働く女囚の群は宛ら牧場にある羊の狀に似てゐる（婦人記者）

赤い小石

井手香風

お百姓の太助爺さんが田の草取りに行きました。暫くかせいでさて一休み、田の畔に腰をかけ腰から煙草入を外して煙管を拔いて

『一服やらうか』

と言ひながらハッと氣がつき

『あ、マッチを忘れた。これはしくじつた』

マッチがなくては煙草は吸へません、太助爺さん溜息を一つ吐いて、煙管と煙草入をしまひかけながら

『こんでもないしくじりをしてしまつた、いつも忘れたことはないのに』

と言ひ〳〵ひよいと目につけた足元の赤い小石

『火のやうに赤い石だな、これが火なればな、あゝあ、マッチが欲しい』

と言ひました。すると川向ふから何だか飛んで來て太助爺さんの前に落ちたものがありました。見るとそれはマッチであります。太助爺さんは驚いて

『オヤ、マッチが飛んで來た、何といふ不思議なことだ。六十八になるまでこんな不思議なことに出つかしたことはない、でも好い鹽梅だ、早速一服』

と、しまひかけてゐた煙管に煙草をつめ、マッチを擦つて吸ひつけて

『あ、うまい、格別好い味だ』

と、さもうまさうに煙草を吸ひました。續けて四五服吸つてから煙草の道具をマッチと一しよにしまひこみ

『おかげでうまい煙草を吸つた、これ、もう一かせぎだ』

と言ひながら立ち上らうとしました。すると太助爺さんの足元にあつた赤い小石が

『お爺さん、私を拾つていらつしやい』

と出拔けに言ひました。太助爺さんは腰を拔かすほどびつくりしました。

『何だ、お前は？』

『へゝ、赤い小石ですよ』

『これはどうだ。不思議なこともあればあるものだ。一たいお前は何のお怪けだ。たゞの石ぢやあるまいな』

『たゞの石です』

『たゞの石だ？、そんなことがあるものか』

『いゝえ、たゞの石ですよ。たゞの石ではありますが、少しばかりたゞの石と違つてるところがないぢやありません』

『さうだらう、だから何のお怪けだと尋ねたのぢやないか』

『併しお怪けぢやありませんよ。私は昨日妙な鳥から魔法を教へて貰ひました』

『ね、鳥から』

『その魔法でもつてマッチをあなたに上げました』

『ぢや、あのマッチはお前が魔法で出したのか』

『さうですよ、マッチに限らず望みのものなら何でも出して上げますよ。お金でも、お米でも、お麥でも、お酒でも』

赤い小石はかう言つて太助爺さんに拾はれるのを待ちうけてをりました。太助爺さんは

『あ、さうか。それは不思議なことだ、ぢやお前が一つあれば俺は直きに大金持になれるね』

と、言ひ〳〵赤い小石を拾ひました。

『さうですとも、日本一の大金持にでもなれますよ。どうぞ大切にして下さい』

『うん。併し俺は厭だ。俺は魔法をつかつてお金持になりたいとは思はない。俺はそんなことが大嫌ひだ。お前のやうなものが世間に出しちや世間のためにならない、捨てゝしまふよ』

ドブン、と、太助爺さんは赤い小石を川の深みへ投げこんでしまひました。（をはり）

やあこりやく

隱し藝を知つてる婦人は人々に愛され藝者や令嬢には大持てに持てる 目下東京で大流行の踊や上品で手輕な御座敷手品を初め都々逸、追分、長唄、常磐津、清元、新内、義太夫、琵琶、浪花節、落語、滑稽、新流行歌、新舞踊は勿論其他一切の隱し藝を集め網羅した物で天下に類書多しと雖もこんな調法な本は此

隱し藝全書を除いては絶對にない。そして誰にでも一人稽古の出來る樣に書いてある本書は約三百ページの大冊物だが御望みの方は發行元へ注文すれば九十錢に割引す前金注文者は外に送料十錢代金引替の注文は送料廿五錢

東京小石川區大塚仲町四四 發行所 佐藤商店 振替東京四四一八番

懸賞附尋ね人

桑原照雄 井上マスヨ

男 年齡廿八歲位山口縣生セイ五尺二寸位目ハヤブネラミ工學出身ノ大工職
女 年齡廿一歲岡山縣生セイ普通色白クヒタイ小目ハ少シ奧目
右六月八日逃走 其住所御通知下されし方には金百圓也の賞金を呈します
京釜線天安驛前 料理店 松乃家梶原

歐米雜貨、洋酒、食器 陸軍及諸官衙御用達
平壤大和町 盛昌洋行 電話三〇四番 振替京城一五四一番

京日案内

送金小切手無効廣告 金額壹百圓也 番號八十七號 振出日大正十年八月九日 振出人 株式會社百三十銀行京城支店 支拂銀行 株式會社百三十銀行支店 右紛失ノ旨届出有之候ニ付自今無効トス 大正十年八月 株式會社百三十銀行京城支店

下女 至急入用當方家族少なし給料は面談の上 黃金町二丁目（電二一五三四）帝國公債會社支部 澤山上村方

貸地（約六百坪餘）土地高燥眺望絶佳、交通至便、住宅好適 京城岡崎町 電二五六四番 朝日石鹼株式會社

自働車 ドッヂ號 シボレー號 壹臺 至急格安讓る希望の方 京城永樂町二丁目 電話一六五八七一番 吉田

採用 旅館的内地人青年を望む希望者は履歴書携帶本人來談あれ面會時間午後五時より 京城長谷川町九八 朝鮮事情新聞社

古本 無比高價買入 ●是非御試商を乞ふ ●御報次第早刻參上可仕候 ●電話參壹九五番 京城本町貳丁目 ●群書堂書店

中古 ミシン高價に買ます 御希望の方は御一報次第參上 京城鍾路二丁目 電話西二三三八 ミシン賣買交換修繕商 補商會

金融 近請確實安全 金融 利殖配當 京城林町四十九番地 京城南興產會 希望者ハガキにて申込あれ

讓店 本町通り目拔の場所 都合により讓渡したし希望者は來談あれ 姓名在社

醫師 至急高給招聘但し醫專出身者に限る 委細午前中面談又は郵便にて御照會の事 京城大和町三丁目 中谷醫院

社員 採用 但調査事務ニ經驗アルモノ 黃金町三 經濟雜誌 事業と投資社

求家 住宅向貸二三十圓位 至急借入タシ 御世話被下タルモノニハ謝禮致マス 太平通（大漢門隣）電七二二番 富田洋服店内 田村

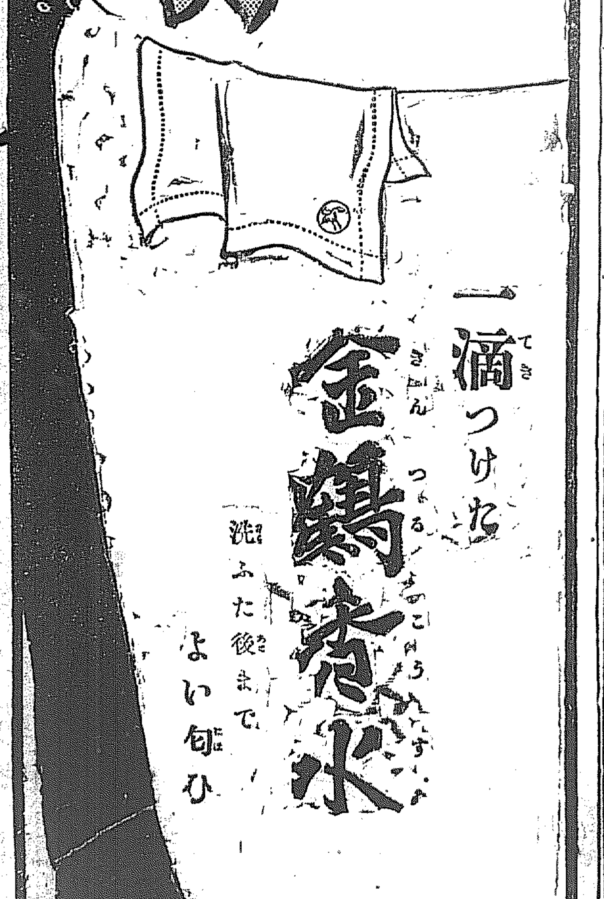
尋犬 セッター種生後十ケ月 胸ト四足先白首輪ニ犬ノ彫刻 十一日行衛不明 御届の方相當謝禮す 京城本町三ノ三九

副業

内科、小兒科 高木病院 仁川仲町 電話七一九番

天下の名釀

發賣元 合資會社 増田屋商店 仁川本町 電話一九〇番
支店 京城旭町一丁目 増田屋支店 電話三五四番



醫學得業士 若林哲朗氏創製

腸内强力殺菌新藥 ワカ末

腸消毒藥として其自體試驗に於てレゾルチン。ナフタリン ザロール等の强殺菌藥に比し實に數倍の殺菌力を有し毫も副作用なし故に腐敗醱酵制止藥として理想的にして急性及慢性腸加答兒夏日の下痢に特効あり

大腸菌屬殺菌藥として赤痢が三日腸チブス、パラチブス四乃至六日にて治癒せる幾多の實見例を有し大腸菌性腸炎、大腸菌性膀胱加答兒に偉効あり斯界大家の唱導する所なり

定價 末劑壹オンス入金廿圓五十錢 同半オンス入金十圓五十錢 同廿五瓦金一圓二十錢 錠劑五十入金八十錢 各地藥舖にあり

東京市麻布區笄町 南信堂藥局 振替東京七八五〇

夏の御料理には

ひさごや酢の素

に限ります

登録商標

ひさごや酢の素發賣元

大阪天滿市之側 和田常七商店

電話長北四〇二五番 北三五〇番 振替大阪六五九一番

[illegible]…務局長と…間に打[illegible]中なりし新朝鮮…の命令は愈内容の整調を…れり多分十一月頃迄には…

…陸軍少將和田龜治氏…は支那滿洲視察の途次十六日午後七時五十分南大門驛着列車にて入城…館に投宿し十七日夜北行すべ…九月六日神戸出帆の郵船北野丸にて佛國マルセイユに赴く豫定なり

東宮御入京の當日
一般奉迎者の入場を許し　東宮御所迄無蓋車に召さる

東宮殿下九月三日御歸朝の際東京驛には一般奉迎者を入場せしめ併も東宮御所までは無蓋の馬車に召され途中の警護も出來得る限りゆるやかにする方針なりと云ふ(東京電報)

李王孫御生誕に就て
京城では告由祭を行はれ　三日間仁政殿玄關で祝賀を受けさせらる

東京李王世子邸に於ては近々王孫御誕生あるべく其時機近よりたるに就き御慶事に關する祝賀其他の行務に關しては豫て李王職に於て研究中の處大體左の如く内定せり

一、祝賀の儀式等に付ては大體各宮家の御振合に據り宮内省と打合の上東京王世子邸に於て取行はれ王家の内祝として執行し外部に發表し公式としては行はせられざること

一、京城に於ては日を選び宗廟及濬慶殿に告由祭を行はるゝこと

一、御誕生の日より三日間仁政殿玄關に署名簿を備へ祝賀を受けらるゝこと

外部よりする御祝ひの品物は各宮家の例にならひ一切受けられざること

一、御命名當日李王殿下同妃殿下には撤殿室に於て御親戚朝鮮貴族及李王職高等官並待遇者の祝賀を受けられ了つて立食しの賜饌あること李王職判任官以下には酒肴料を賜はること

一、御男子出生の際は宗山李氏一門の代表者一人祝賀の爲め東京へ出發のこと

一、李王殿下、同妃殿下の御使として李王職長官李載克男爵朴事務官出張のことは既報の通り

京城給水制限
斷水時間が多くなる

今日まで京城給水の制限は午後九時から翌朝五時までの斷水であつたが昨今の暑熱にメッキリ使用量が增加して到底現狀を維持することが能はず十六日夜の水位の狀況に依つてはいよいよ十七日からは晝夜二回の制限を斷行せざるを得ない窮境に落入つた若し十七日から斷行する事になれば午前中に一般へ知らせることにするが斷水時間は午後一時から四時までと同九時から翌朝の五時までの二回である

飛行郵便參加者
六名決定

東京盛岡間郵便飛行は愈二十日午前七時代々木練兵場出發帝國飛行協會主催にて擧行せらるゝが之が參加申込者は結局左の六氏と決定せり(東京電報)

水田嘉藤太(イスパロヂー百廿馬力)△後藤勇吉(ダイグラ二百六十馬力)△島田武雄(イスパロヂー百十馬力)△福永四郎(イスパロヂー八十馬力)△石橋勝次(イスパロヂー二百二十馬力)

步哨三名
行衛不明となる

去十日東支鐵道沿線横道河子驛とムーリン驛間にて步哨の任にありたる日本兵三名行方不明となりたるが右は馬賊又はパルチザンの所爲なるべく我が駐屯軍よりは搜索隊を出し搜索中なり(敦賀電報)

五萬圓横領
犯人は支店長

岐阜縣武儀郡富之保村吉田倉庫銀行支店長土屋元之助(三七)は株式相場に失敗し行金五萬圓を横領したる事發覺十一日以來行方不明なりしが十五日に至り附近の山中に縊死し居る事發見されたり同人は資金二萬圓を有する者なり吉田倉庫銀行は昨年十二月下牧支店長中島落七が行金七萬圓を横領して發狂したる前例もあり旁同行の信用全く失墜するに至れり(岐阜電報)

滋賀縣視察團

滋賀縣…來城京城及び仁川を視察し二十五日安東を經て滿洲に向ふべしと

谷間の草原に

十三日午前十時頃…を距る西南四、五町の谷間の草原につぶし島田の二十前後の美人が死亡し居れるを通行の朝鮮女が發見し其筋へ屆出でたが死者は…の中流以下の妻君體にて鼻孔口腔より小量出血し居り死體の附近には自ら手向けしものか一束の白百合の花あはれ凋落して

明石の殺人
犯人は臺灣人

芳彦(…)と判明したが彼れは去五月父の實印と現金六千圓を盗み内地に入り込みたる惡漢にて尚被害者孝吉の死體解剖の結果毒を盛まされ居れる事も判り

大丸全燒
隣接家屋も類燒

十六日午前五時京都大丸呉服店より出火し全燒し接近せる信託株式會社京都株式取引所仲買店數戸類燒し同八時鎭火せり(京都特電)

株取引所休業
仲買店七戸全燒

【綾部】今朝五時京都大丸呉服店より出火全燒す此外仲買店七軒京都信託會社も全燒し七時鎭火せり出火の場所は株式取引所近くの事にて大混亂を呈す株式取引所は臨時休業す(京都特電)

金剛探險隊天幕旅行
太古以來の仙境人間の眼前に展開す
永郎峰の中腹に道を失ひ　探險隊員具に難苦を嘗む

特派員　光永紫潮

この友不知の險を突破した一行は更に勇を鼓してこの上五丁餘りにある百餘尺の無名の瀧を見た。楮市は友不知から見ると劣るけれども高さに於て遙に友不知を抜いてゐる。深碧を湛ねた瀧壺の邊に立つて見ると瀧の飛沫が所に松柏が二三本あつてその間み綺麗に晴れ渡つた蒼空に白い眞綿の樣な雲が悠々と南へ南へと急いで行く光永特派員は之に九仞の瀧と命名した。下から仰げば將に九仞のどん底に一直線に下ちて來てゐる。斯の二つの瀧を究めた後一行は更に南進龍馬石並に新羅太子の墓を訪れる心算であつたが、金サバンは

九仞の瀧から　南行して一路

毘盧峰(海拔五四〇五尺)を指する筈のが金は毘盧峰と之に隣接してゐる永郎峰(五二八三尺)とを見誤つて道のない胸のあたりまで高山地帯によく見る長く伸びた大樹林の間を一歩は一歩東へ東へと進んだ、一行中案内の一人阿部さんは方向が違つてはゐないかと言つて心配してゐたが金サバンの行所なら間違はないと信じてゐる一行は金サバンの跡を慕ふて大深林地帯に這入つたか、行けども行けども道識きず最初一行の行路の左側に突兀として巍峨たる秀峰を天空に眺めてゐたが午後二時頃になると漸次我等の右してゐる

毘盧峰は後へ　後へと下がつて

丁度ある山の中腹をぐるぐる廻つてゐる樣である、この深林を分けて進行中一行は仔牛大の熊二頭が人にも怖ずこの深林境を囲さみ遊つてゐるのを見別に一匹の山羊の姿を見た午後の六時い、大樹林中に辿り着いた、高山の日は早く暮るのか常である四邊には暮色が立て罩めて高山の霧を通じて夕陽は西に沈む五彩の虹は彼方の天空に映つた案内者は午後六時以後はこの樹林中は猛獸の被害は豫め計られぬ、加之に午後六時以後は蛇の被害が恐いしい、先づこれ

探險隊員の命名せる　金剛山青嵐峽

萬相亭から一行の保護を乘ね間塘長宮眞部の天羊さんそれにわきれぬまでに空腹である、前道なき深林中を彷徨した爲め絶る一行のお腹は午後の六時間の據で輕い辨當を濟ましてゐ午後零時、九龍洞の上流の分水嶺か出來ない日は暮れかゝる、第一水がない、水がなければ炊

密林の中に　天幕を張ても

から以後は步けない早速今夜宿營を決定しなければならないことになつたが今我等一行の立つてゐる地點は尠くも海拔三千尺以上の高地である

楓の葉の間に　見え隱れする

て管内を巡視してゐる佐藤溫井里警察署長大熊森林主事は金及ポンジュと呼んでゐる此の地の地理に明るい鮮人夫と地圖と羅針盤とを賴みに首つ引きをする一方左右前後の高い木に登つて方向を考へて見ると毘盧峰より遙かに西北豁谷を隔てた永郎峰の中腹に迷ひ込んだことを發見した、自分等一行の立つてゐる地點の高い楓の樹の上に登つて見ると、内金剛の表訓寺正陽寺の甍が遙かに西南の方に

夜氣はそゞろに迫つて來る、行くべき道は皆目判らぬ、只如何なれば一刻も早く宿營地を選定して天幕の張ることであるかこの中腹には更に水の音がばつたり絶てゐる、一行二十名悉く憔悴も疲れた足と空きつた腹がきかぬ、茲で協議の結果は何れにもあれ谿谷に辿り着いて天幕を張らうと言ふことになり永郎峰の絶頂から東の方の胸までの檜、松、柏、白樺、樅などの雜木上にも重なり合つた道を進む二、三挺の鎌を頼みに身體にはる雜樹を切り倒し難倒して一行非常に緊張して來た、途中隊の唸りを聞くこと一度一行朧氣寒くし行けども行けども髴彿に斷れる水の音はさらりともせぬただそれをのみ頼りながら次第に峽谷へ峽谷へと下つて來ること耳の故いかさらさらと云ふ低音が聽へる、水だと一人が

奇聲を發して　一行步を止め

て耳を澄して見るけれどもただ山を渡る風の聲が物凄い丈けで水らしくはない、何處まで行けば水があるのか、一行殆ど根も精も盡きたこと、微に微に擬めても、微に水音がする、遙かに眼下に深い深い谿谷があるのを發見した、『占めた、水があるぞ』一行の歡びは感極まつて殆ど言ふ所を知らない有樣であるこれから、ただ微な水聲を辿つて樹中電燈を照し一行相互に呼子の笛で相應じつゝ行くこと約十五丁、午後八時一行は漸く永郎峰の東毘盧峰との中間の峽谷に眞綿の樣な水泡の岩に激する一盆地に到着した、それから一行は夜の

猛獸の襲來に　備ゆる爲枯木

を集めさせ、天に冲する焚火をした後、午後の九時に漸んと遲る頃漸く御飯にありつき、焚火の跡の火を擴け、その上に集めさせた楓及白樺の木の葉を擴け雜草を伸べて、その上に用意の毛布を敷いて、午後の十時一行は死んだもの樣に深い深い眠に落ちた。(永郎峰中腹假舍谷宿營地にて)

探險隊十七日歸城

【田邊特派員發電】探險隊一行六名は十二日午前七時溫井里出發新金剛の大石深を通過し途上水中に墜落し又は石上に顚倒するなど全員輕微の負傷を負ひたるも毫も屈せず十五日午後四時長安寺に到着せり因に十七日朝當地經平康にて鐵路歸城の途に上るべく南大門着は同日夕刻ならん(長安寺電報)

控訴權を拋棄したが
未成年の被告は　親權者が代つて獨立上訴した　例の少ない法曹問題

京城地方法院刑事部太宰裁判長が此の程懲役六月を判決言渡した未成年者揚龜鶴に係る窃盜事件は翌日被告自ら其の控訴權を拋棄し服役する事となつたが母親であり親權者雅西面から龜鶴の爲め控訴申立てを申請した結果端なくも興味ある法律問題が惹起したるのでそれに基づいて母親西面の代理人堀田喜織辯護士が控訴申立をなしたのであるが裁判所では本人即ち被告が控訴權拋棄後なる故を以て親權者の控訴申立も無效であると云ふ理由で却下した

太宰裁判長

の却下理由は『刑事訴訟法第二百四十四條には被告の法律上代理人は獨立して上訴を爲す事を得とありも此第二百四十四條には法律上代理人が獨立して其の資格に伴ふ固有上訴權を有するものと解すべきに非ずして被告人の上訴權を獨立して行使し得る事を定めたるものである、左れば一旦被告人の上訴權拋棄ありたる以上は上訴期間中と雖も判決は直に確定するを以て被後に於ては法律上代理人は上訴權を代行すべき餘地なきものす』と云ふにある。で其の煎じ詰めた處上訴權は親權者が獨立して持つてゐるのでは無く獨立して行使する事が出來るに過ぎないから

被告か拋棄

した場合は權は効力を失すると云ふので上訴權が二つある如く解釋するのは失當であると云ふのである、右に就いて該却下理由を不服として抗告して堀田辯護士は語る『特に未成年者の場合に其の親權者は意志の如何を問はず獨立してやれる事は立派に學說となつてあるだから被告人が控訴を拋棄しても控訴期間中は之を上訴權は保存してあるのと考へられるで何れにしても立派な法律問題として内地にも未だ例を見ない珍らしい法曹問題と思ふ之が判決こなれば新判例が現はれる事と思ふ』

颱風の中心移動
小笠原列島の南西に進行し　南九州、東海、中仙道は暴風

十四日小笠原列島附近にありし颱風の中心は一時間十哩餘の速度にて進行をつづけ十五日朝小笠原島南西十二三哩の海上に進行したり仍つて同地附近は七百三十粍に低下し風速十六を算し風向も轉じて同島より西に逝れ中心は尙靜かに北西に進行中なりために鑄岬より遠州灘附近の海上は大うねりを生じたるが南西諸島、九州南部、東海道、中山道一帶風強かるべく其他は概ね平穩、關東地方は曇り諸州地方は降雨其他一般に好晴なり高氣壓は本邦北部より朝鮮にあつて北東に進行中なり右たつき中央氣象臺員は語る颱風の中心は七百二十粍で現在は颱風夫れ自身が進路に迷つて居る形で出來ない若し北西に進めば本邦に多少影響を受けるのは言ふ迄もない事だ(東京電報)

日本アルプス横斷飛行
六機雁行して飛翔

各務ケ原高田間日本アルプス横斷飛行は愈十五日より開始されたり、當日各務ケ原航空隊第二大隊第一中隊にては早朝より準備に努め午前六時十一分先頭第一に稻田中尉モ式三百二十二號で五分の間隔をおいて大川少尉百六號、米沖軍曹二十四號大橋曹長い式モ式三百二十四號モ式三百七十五號を何れも操縱し前機の後を追へり(岐阜電報)

不時着陸
モ式三二一四號　機體は破壞　操縱者無事

十五日午前六時十五分各務ケ原を出發し金澤に達する筈なりし大川少尉操縱モ式三百二十四號機は九時頃福井縣大野郡上空にさしかゝりし際密雲にとざされて同郡面名ケ原に不時着陸せり機體は大破せるも幸に操縱者は無事なりき(福井電報)

無事高田へ着陸
各務ケ原から一時間餘を費して

十八九兩日關山原頭を中心として行はるゝ航空隊聯合演習及射擊測定演習に參加のため十五日午前六時三十分各務ケ原を出發したるサ式百二十三號モ式三百二十六號及三百二十四、二十三、二十五の各機は大川少尉の三百二十四號が途中越前永平寺管内に不時着陸せしを除き八時四十分立山連峰を突破して高田市北方の上空に機影を現はし相次いで無事着陸せり尙は墜落機救助のため各務ケ原より行將校現場に急行せりとの報あり

露國歌劇團來朝

露國歌劇家八十名の内先發のブルスマン(七)外三名は十五日門司入港の熊野丸にて上海より寄航神戸に向へり右ブルスマン氏は船中にて語る(門司電報)『九月二十一日より十九日間東京の帝劇で開演する事になつて居る契約は十九日間で四萬五千圓である』

看護料値上

十五日より實施せる看護婦及び附添人の料金は以前より廿錢乃至三十錢の値上に看護婦料は普通にて二圓卅錢傳染病は二圓五十錢より三圓まで特にコレラ、ペスト病は七圓であるが、附添人は一圓卅錢より一圓五十錢コレラ二圓五十錢ペスト三圓の料金なるも何れも食事は出外である

軍用鳩の活動
重傷を負ひながらも　自己の責任を全うする

…の報告…を調達し居れるが鳩の責任觀念の強いのには驚く程で我が軍の放ちたる鳩が途中に於て貫通銃創を受け一旦墜落した…んだ例もあり軍隊では…の材料となつて居る(教育州報)

電氣會社員の電流盜用
十七日公判開廷

京城電氣會社職工前河勇太郎(三〇)が西大門社宅で去る大正八年三月から引續き本年七月迄の間大袈裟な電流盜用をなし社會に害毒を流した事實は一二摘發され府來檢事局で取調べ中であつたが右は會社から光線一丈餘を盜み取つて居宅内電線に竊かに連絡し電燈は勿論電機火鉢電熱機等にも使用し合計四百五十三圓餘の盜用と判明し愈十六日京城地方法院に大原檢事から起訴された公判は十七日午前九時から李裁判長の係りで開廷の筈である

元巡査の窃盜教唆
白痴を利用して

新井縣南條郡神山村生れ當時住所不定佐野薫(三)は去る三月迄楚山署の巡査を拜命してゐたが職務拋棄の廉で免職となり爾來一定の職業なく放浪の揚句六月京城に來り本町二丁目大和屋旅館に投宿中相宿となつた少亦無賴者宮武平十四(一八)の少々白痴なるを見込んで『お前か何處かで自轉車を盜んで來たら高く俺が買つてやる』と言ひ事頭め込んで平十四が郵便局前で新井武之助の時價二百圓の自轉車を窃取し來たのを花園町古物商金聖培方に擔き出頭で賣却した處から檢擧され大原檢事取調中であつたが十五日窃盜教唆贓物牙保として起訴されたので十七日京城地方法院李裁判長係りで公判開廷と決定した

獨逸の秘密造船圖
牧野技師が買收して歸朝　我が造船界の一大革命

八幡製鐵所の元技師牧野立氏は川崎造船所の松方幸次郎氏の要求により種々苦心の結果獨逸より秘密の造船圖を買收し目下加茂丸にて歸朝の途にあり右到着すべしと期待せらる(東京電報)

阿片煙の罪

仁川府支那町一支那人孫佳林は鄭金洲なる者から阿片煙膏七包を貰ひ受け隱匿所持し内十四包は吸食し六包は附近の張福田に賣却し張は之を吸食したと云ふので十六日京城地方法院李裁判長から孫は懲役八月張は同三月の判決を受けた

撲殺さる
被告者は惡漢　情婦の事から

十五日午後十二時頃高陽郡延禧面に於て殺人事件勃發し十六日午前三時半水色警官派出所の申告に依り西大門署よりは梅野警部補、森警察醫出張して被害者の死體を檢死して直に加害者延禧里一四六番地農李奉鎭(四二)を逮捕し嚴重取調べ中なるが事件の經緯を聞くに被害者の李白乭(三三)と李聰根(二八)外數名は交際の間柄なりしが李白乭の姉李姓女は寡婦なるが李奉鎭は李姓女に絶縁を勸め李姓女も最近李奉鎭に情なく當るより被害者は十五日夜附近の酒幕にて酒を飲り十二時頃李姓女方に怒鳴り込み惡行を働かんとしたる爲め居合せたる親戚の者一同は李奉鎭を殴打したるに棍棒當り處惡く李奉鎭は絶命したるものにて西大門署に於ては猶嚴重取調べ中なりと

裁縫講習會

京城高女で開催　時代の趨勢につれ兎角裁縫問題の云爲せらるゝ時、豫て之が研究中であつた京城高女卒業生から成る白楊會では今回同會主催の許に鼠田、臨原兩式の裁縫講習を在京一般婦人の爲開催の筈で講師は先般上京之が研究を得で歸城された當地高女裁縫講師矢吹きはる子女史にて開催期は來る二十一日より五日間毎日午前八時半より午前十一時まで南山町高等女學校に於て會費一圓希望者は住所氏名明記の上來る十九日まで南山町高等女學校内白楊會まで申込まるべく入會者講習中の用品は筆記帳、裁縫用具、外運針用布地晒布巾二尺と普通表地晒布巾八尺及び裏地晒布巾三尺

内鮮融合講演

大阪毎日新聞主催の帝大、慶應、早大の學生より成る内鮮融合巡回講演團七名は去月十三日東京出發、大連を振出しに滿鐵沿線各地にて講演會を開催、至る處にて歡迎を受け十六日入城したるが十七日午後七時より京城公會堂に於て左記演題の下に講演會開催の筈にて傍聽隨意なりと

▲朝鮮問題解決の日(早高森本昇)▲歐洲文明の末路(慶大吉田發雄)▲共榮か共滅か(早大中村博)▲朝鮮の青年諸君へ(帝大森沼勇)▲青年亞細亞の建設(早大訪田一郎)

蠶業講義錄

交配種編　勞力と經費を半減して而も二倍の收繭ある　蠶業家に告ぐ
蠶業說明書本タダで進呈します
蠶業家救濟機關たる本會は養蠶の失敗を根絶すべく、斯業の最高學府たる西ケ原飼育の秘法を洞校講師に依りて講述公開し一般會員を募集す……三ケ月卒業
◇會費金壹圓五拾錢
◇東京巣鴨町有樂町　西ケ原蠶業研究所　振替東京五七三〇九

フアゴール
肺結核新藥
醫學博士高橋順太郎氏創製の新藥フアゴールが肺結核、肺尖カタル等結核性諸疾患の治療劑として最大の效果を有することは夙に學界の公認せられたる處なり
吉本醫學博士、中濱醫學博士、佐藤醫學博士、澄川醫學博士等は孰れもフアゴールの卓効を賞揚せられたり
■說明書進呈す(全國著名藥店にて販賣す無き時は直接御照會あれ)
▲一手販賣元▼　東京市日本橋區本町　友田合資會社

新築移轉御披露
弊亭儀先般來新築中の處此程漸く落成致し候に付移轉と共に舊來の面目を一新し御華客樣方の御氣に召し候樣萬事心掛け居り候間何卒相變らず御引立の程伏して願上候　草々
龍山　松華　電話三一八番

毛布の處分賣
三菱倉庫滯貨處分
破天荒の安賣は總數三萬枚限り跡なし賣切れ次第中止す
鼠毛布　大判二枚續き　甲特製　二圓五十錢
茶毛布　大判二枚續き　特甲製　三圓…
白毛布　大判二枚續き　特甲製　四圓…
ダラク毛布　大判二枚續き　特甲製　四圓八十錢
赤毛布　大判二枚續き　特甲製　…
以上何れも優秀高尚にして新輸出毛布殘品大判一枚物…
東京市日本橋區本石町一丁目十間店　毛織物　關谷商店

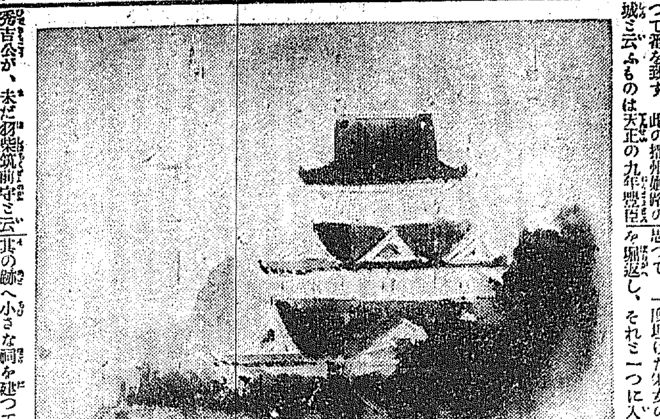
藝術寫眞
見よ!!!　八月號
毎月一回一日發行
一部五十錢郵税二錢
發行所　大阪市西區江之子島東之町二番地　藝術寫眞社　振替大阪九九三番

開店一週年記念大賣出し
京城府櫻井町一丁目百三十九番地
酒、洋酒、醬油、味噌、乾物、木炭、煙草其他諸雜貨
金玉川屋商店　電話五六三番

實説 □□前譚

第六十席　小金井芦洲 講演

又『エ、參りますとも、御[illegible]の如く今晩是からお勤めをなければならんと云ふやうな許では、召上り物も美味しくはございますまい、私が代つて參りますから、お心置なく澤山召上つて下さるやう』○『左樣か、さう定つたら早速ながら御馳走やう』と喜んで其男が既に元氣付いて、酒を飲み初め飲めや打騒いで居りまする中は日は暮れお天守に行かなければならん時刻が來たから　又『然らばお待成しを致しまするエヽ私が中座を致しましては相濟みませんが、何卒お不詳を願ひます』と云つて一同に別れを告げ、天守に行つて番を致す。此の播州姫路の城と云ふものは天正の九年豐臣秀吉公が、未だ羽柴筑前守と云つて、中國探題を勤められた時に姫路へ居城を遊ばして天守がなくては不可んと云ふので造營を思ひ立ました所、此處に一つ鬱然と高い森がある、其中に社がございます、木を伐り社を毀し天守を建る敷地にする、領分の百姓などが歩役加役に當つてそれに出て仕事をして居ります、が、木を伐り初め社を毀し掛ると俄に一天掻曇つて、恐ろしく雨が降出し風が吹き、何分止まんので仕方なく中止を致し又晴天を見て仕事に掛ると風雨激しく起り誠に物恐ろしい天候に相成りました、頑迷の百姓共寄ると觸ると、小阪部樣のお祟りだと云ひ觸らすのが秀吉公の耳に這入り　秀『人は一個の小天地萬物の靈長たるものに對して祟りをするなぞと云ふ事はあるべき筈でない、何を以て左樣な事を言觸らすかな』と秀吉公大勢の者を集めて其の理由をお尋ねになつた時に、一人の老臣が出でまして、老『此の姫と云ふものは利の執權職播州の加古川にありし武藏守輝直の娘小阪部姫の靈にございます、小姓の菜女と云ふものと不義密通を致し、事露顯に及んで、小阪部姫には何のお咎めもなく、菜女は追放に相成りました。是が大居武藏守輝直を恨んで流れ〳〵て此の處へ來て憤死を致しました、夫故里人が寄つて不憫から其の屍を葬つて遣はした所菜女が死んだと云ふ事を聞いて小阪部姫が跡を慕つて菜女の塚碑に向つて涙を流し、掻口説いて此所で自害を致しました、村の人が誠に情の厚い感心な者だと氣の毒に思つて、一度埋けた菜女の死體を堀返し、それと一つに入れて其の跡へ小さな祠を建つて、小阪明神と號しました、以來此の村の鎭守同樣になつて居ります』秀『ア、左樣か、夫れより樹木鬱蒼致したる所より、此の森の中へ狐狸妖怪の類が住ひを致し居つたに違ひないさう云ふ譯なれば差支ない』と愈人夫を勵まして到頭其社を打毀して天守を建つて仕舞つた、スルト或夜秀吉公の枕下に立つた小阪部明神、恨むが如く訴ふるが如く、吾靈を祭り呉れろと懇請を致した爲に、五重の天守の絕頂へ以て行つて、此の小阪部明神を祭つた下が千疊敷、二階が八百疊、三重が六百疊、四重が四百疊、五重が百疊敷で其れ以來秀吉公の朙木下若狹守勝利公の代に至つても、誰一人天守の絕頂に上つた者がなく誰云ふとなく上れば必ず共に、小阪部明神の怒に觸れて命を取られると云ひ傳へ別段怪異に出會した者はないけれ共、それを又聞いて此の天守へ御番をする者は、この位臆を痛めるか知れない、然るに此所へ武藏正名先生瀧本又三郎が參つて御天守番を致しましたが、格別に變つた事はない夜が明けて戻つて來ると、鳥飼一番部屋では一同『どうだい年は若いけれ共、今度來た瀧本と云ふ男は剛膽な者で』一同が『嫌がる所へ私が行きませうと云つて昨夜勤めに行つたがさうしたろう別に變つた事がなかつたか知らん』話をして居る所へ　又『お早うございます。』『イヤ歸つて來た〳〵、イヤ瀧本昨夜は誠に御苦勞だつた、手前お蔭で大層酒を頂戴致した。シテ瀧本さうだつたい、別に變つた事はなかつたか』　女『イエ別に變つた事はございません。』『何か物凄い事はなかつたか』　又『何も物凄い事はございません』



優雅華麗にして最も卓越せる　みのや京染店の都御誂模樣染

曆

八月十七日（舊曆七月十四日）　水曜日 ▲壬子 ▲九紫 ▲先勝 ▲鉄宿 ▲定　剣南方

▼九紫▲由なき事に爭うて友を失ふ日　親密なる間柄と雖も用心大切に

▼一白▲思ふた程の利益なし大業大切に勵むべき日　新事は見合

▼二黑▲幸福の日　概ね目的通りに運ぶべく開店旅行商取引求職結婚吉

▼三碧▲意外の吉事に遇合する日　新しき方面に活動するも有効

▼四綠▲勘定合つて金足らずの日　冷靜ならざれば大破れを來す

▼五黄▲商事文藝何れの方面に活動しても九分通りは成功の日

▼六白▲盛運の日にして落付あれば自然勝利を占む　大取引亦吉

▼七赤▲氣緩みを生じ大損を誘す愼むべし　遠くへの旅行は見合

▼八白▲思はず目上の引立を受くべく花々しき賞もある大吉祥の日

京城明治町　電話弐三四〇
産科婦人科　中央婦人病院
院長　衣笠舜山

商業登記公告

商號設定○商號　元金商店○營業ノ種類　東西洋雜貨販賣○營業所　洪川郡洪川面新興里四九番地○商號使用者ノ氏名住所　洪川郡洪川面下吾安里參六七番地　金錫周

右大正拾年八月十一日登記

京城地方法院洪川出張所

法人登記公告

淮陽金融組合登記（變更）

理事西菊馬ハ大正拾年七月拾九日辭任シ同日左記ノ者理事ニ任命就任ス

江原道淮陽郡淮陽面邑内里五百拾番地　田中大夫

右大正拾年八月參日登記

京城地方法院淮陽出張所

商業登記公告

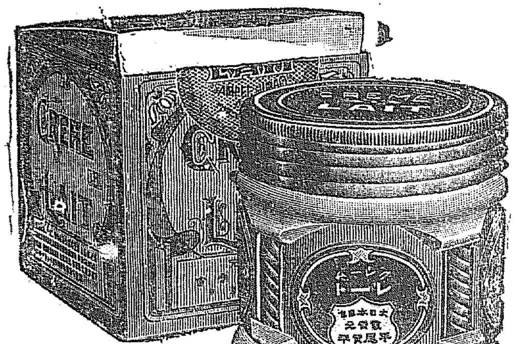
朝鮮銀行（變更）

大正拾年八月七日滿洲吉林河南街ノ支店ヲ左ノ處ニ移轉シタリ

滿洲吉林河南街第壹區六百八拾壹號

右大正拾年八月拾參日登記

京城地方法院仁川支廳



東京 大阪　平尾贊平商店

若々しくする　新美膚料

◇三越のお化粧室で實驗されてゐる所を御參考下さい。

クレームレート

品質至純にして毫も不純なる脂肪を含ず芳香また優雅にして世界的模範クリームの稱あり、常に用ふればお肌を根本組織から整へ色艷を若返らせ、滑かな水々しいお肌とする……

10.8—203

胃病ならイの一番　イカイ胃散

登錄商標　衛生堂　胃弱症の特效劑　健胃　胃散

田代商會
滿鐵荷役運搬請負業
各種石炭 煉炭
コークス販賣業
鞍山銑鐵
硫酸安母尼亞
平壤府壽町九八番地
電話長八三九番

登錄商標
臺灣總督府專賣局方劑
朝鮮總督府法定消毒劑
消毒防臭劑
後藤デシン
殺菌力の偉大なると防臭力の確實なるは諸官廳の御試驗に依り明瞭にして本劑の最も誇りとする處であります
後藤デシンは至る處信用のある藥店に販賣してゐます

夏服地各種荷揃
平壤旭町　丁子屋洋服店
電話長二七番　振替京城三五三二番

傳染病科（結核、梅毒、痲病、其他）
小兒科　中谷醫院
（喀痰、尿便、血液、細菌）檢査需に應ず
京城大和町一丁目　電話一〇三三番

酸素療器　特約店

▽邦文 支那文　第十六號實驗例贈呈△

オキシヘーラー

▼オキシヘーラーの效力顯著なる事は使用僅か五分間にして三乃至五ミリ血壓を亢め一時間を繼續せば實に十乃至卅ミリの活力を增進す試に血壓計、脈波計を以て驗せば其の調節の狀を明にし各自は脈搏、呼吸、體溫の整調に依て自覺せらる▼發妙なる酸氣應用の本器は斯して血液中の酸素吸引力を增大し健康の元素を補ふが故に難治の疾病を根治するに空前の偉力を有す論より證據使用者は忽ち脈が强實となり全身の溫暖、呼吸の深長を感じ次で鬱陳、解熱、鎭痛、食慾の亢進、兩便の快通等生理本能を回復するの神速なるは實に天下の奇蹟也

特色一使用法簡易效力永久不滅にして電池の如く消耗する物にあらざれば器械購入以外永久に何等費用を不要

■正價金參拾五圓■　送料　内地金參拾六錢　支・朝・臺・樺金六拾五錢

東京牛込區神樂町一丁目一番地　オキシヘーラー奨勵會　電話番町特長三〇七・四六八九番　振替東京二七七一二番

京城府北米倉町八十四番地　筒井清彥

LAXATOL

新下劑　ラキサトール

一般便秘症殊に常習性便秘症に内服し奏効確實にして最も安全なる理想的新下劑なり

本品の特徴　用量頗る僅少にて奏効し、無味無臭なれば婦人、小兒も服用し易く、又腸に刺戟を與へざるを以て腹痛、痼痛、裏急後重等の副作用なく且つ連續服用するも絕對に習慣性を來さず

本品の作用　ラキサトールは服用後便通を來すまでの時間及排便の回數は人により多少の差異あるも、凡そ八乃至十二時間にして一二回の排便を普通とす、而して服用は空腹時又は就眠前を最も適當とす

錠劑、粉末の二種類あり（全國知名の藥店藥局に販賣す）

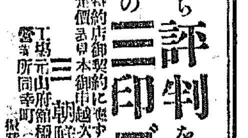
伊藤醫學士　實驗報告書　無代進呈す

發賣元　大阪道修町三丁目　株式會社　鹽野義商店　振替貯金口座大阪八壹番

日本橋區本銀町三丁目九　鹽野義商店東京出張所　振替東京五四五五五番

(50)

代表的懐中藥
消化と殺菌力の强大な
寶丹
本舗 東京　守田治兵衛
各別到る處にあり



忽ち評判を高めた　自給自作の　三印ゴム靴
△特約店御契約に應ず　△定價表御申越次第送る
工場　元山府館洞　朝鮮ゴム工作所（電話一五三番）
營業所　同幸町（電話三八番三〇八番）　振替口座京城五一四六番

美味 滋養　蜂印香竄葡萄酒

この美味……この滋養……

何方にも美味しく召し上れる萬人向な蜂葡萄酒は唯一の家庭慰安飲料として廣く推奬され　同時にドナタのお身體にも適ふ保健の滋養品は　無二の强壯與奮劑として普く賞讚されて居ります……

適用
夏やせする人　營養不良の人　精力衰退の人
食慾不進の人　手足冷性の人　貧血目眩の人
神經衰弱の人　不眠症の人　病後衰弱の人

販賣　東京本町　近藤利兵衛商店

産鐵存續決定
減資決定重役新任

朝鮮産業鐵道臨時總會は十五日午後一時より帝國商業銀行樓上に開かれ藤山社長議長席に就き劈頭前回の總會に於て爲したる解散決議取消の件を附議し滿場一致を以て可決次で資本金二千萬圓を五百萬圓に減少の件も異議なく可決 五圓拂込の舊株四株を以て二十圓拂込みの新株一株を割宛つる事とし猶現取締役十名監査役五名は總辭職を申出でたるを以てこれを承認し新に取締役五名監査役三名の選擧に入り手續き省略し議長より取締役に町田金之助、岡村左右松、伊藤利三郎、中村敏、伊吹震の五氏を監査役に松平直平、渡邊榮太郎の二氏を指名の監査役補缺(朝鮮人)一名は次回總會にて選擧すること、し藤山社長の辭任の辭ありて無事散會せり猶近日取締役の互選に依り社長專務取締役を決定すべし(東京電話)

鮮米代用廢止問題
實行は時日を要せん

米穀取引所聯合會にては曩に朝鮮米受渡代用廢止の件を附議せるが當業者は右を秘密に公表せざるも朝鮮米代用廢止は朝鮮財界に及ぼす所の影響重大にして同決議は農商務省の許可を要するものなるためヨシ代用廢止を實行するもそれ迄には尚ほ多少の時日を要すべし(大阪發電)

撤廢對策

朝鮮米の代用撤廢問題は十五日東京に於ける全國取引所聯合會に於て附議されたる筈なるが未だ其結果に就ては京城に於ける關係方面には何等の通達に接し居らず曩に内地取引所に於て…

鮮米の格差

…引上をなしたる以來鮮米の定期渡米としての需用は減退され自然阪地方面の商人にして仁川市場等の値鞘の思惑を試みんとする者少く其結果大口の取引減退し小口取引行はる・に至れり格差引上をなしてすら斯の如し然るに更に代用撤廢させば取引額の減退は更に著しきものあらん或は實際論として朝鮮米は白米として内地に於ける實需品たらんとする傾向は將來更に顯著なるものとならんも取引所の建米とならぬことは鮮米の眞價を徹底を

一般に徹底

せしむる所以にあらず株式にしても取引所の建株だらざるは優良株として認められざると同樣なり此際米代用撤廢問題に就ては鮮内米穀關係者は東拓等の有力會社と連絡を保ち官民協力一致歩調を一にして運動の貫徹を期する要あるべしと

鮮銀異動
重役の兼務解任
人選も決定

朝鮮銀行にては幹部中に一大異動を見るべく内定にて既に夫々人選も決定し其發表は兩三日中に迫れりとも又來る二十二日東京に於ける總會に各重役の會合を機として熟議の上に決定すべしとも傳へらる・が何れにせよ主要幹部中に異動あるは事實なり而して今回の異動を生ぜる主因は重役の兼務解任にあるが如くにて現重役中掛井生治氏が大阪支店支配人を兼任せるが同氏は京城本店に執務する都合上大阪支配人の後任を要する次第にて下馬評によれば其後任處は

現營業部長

中西喜久雄氏ならんと云ふ中西氏の後任は順序として營業部副支配人宗像猿夫氏が人物手腕共に適任なりと認められ居るを以て當然同氏の昇任を見るべきならんも或は部長昇任は即時に行はれず現在の儘部長事務を見る次に現重役中吉田節太郎氏は總務部長を兼務せるが重役兼務解任の主旨なれば當然總務部にも

仁鉢は廻り

て吉田重役の兼務解任となるべく既に既任總務部長は某々の兩氏に略定し居るが其決定を見る迄には尚多少の餘日を存するものと觀測せらる、即ち大阪支店支配人の專任の急を要するものあるも總務部長專任はしかく急を要するものと認め居らざるが如しがある

▲▲▲銷夏漫語▲▲▲

執行猪太郎氏曰く私しは嚴寒よりも寧ろ酷暑を大ひに好みます冬の複雜な裝身に對し夏は浴衣一枚の輕裝で思ひの儘に活動が出來る鮮米の夾雜物に付ては農事の改良と米商の努力と相俟つて今日は相當に精選され安心して使用されて居るが兎角其品質を認めて具れません之れは夾雜物以外赤米の混入して居る事が最大原因であります鮮米改良上赤米を絶無ならしむる事は今日の最大急務である今後各方面から極力赤米除去を實際の必要がある

起債調査
大藏省發表

大藏省發表に係る七月中の起債額は内國債一千八百六十五萬五千百二十五圓及び米國債券四百六十五萬九千五百六十三圓三十四錢にして償還額は外國債二億六千九百二十五萬圓及び臨時國庫證券百五十萬圓大藏省證券三千萬圓にて當月末の公債現在額は内國債二十億二百二十二萬二千四百七十五圓國債十四億二千三百三十八萬七千三百六十五圓三十六錢及び臨時國庫證券五百三十萬二千二百九十五圓七十五錢大藏省證券三千三百五十萬圓米國證券四百六十七萬一千二百四十圓七十五錢なり(東京電報)

殖銀社債
五百萬圓發行

朝鮮殖産銀行にては勸業銀行外二行の引受にて本月下旬社債五百萬圓を發行するに決定したるが條件左の如くなるべし(東京電報)

一、賣出し價格 九十八圓五十錢
二、利率 年七歩
三、利廻り 七歩四厘
四、償還 一年据置六年間に償還

商品擔保貸出

京城商業會議所調査に係る七月中の京城組合銀行の商品擔保貸出額は朝鮮産品に對する貸出七十九萬七千餘圓輸移入品に對する貸出百〇四萬餘圓合計百八十三萬八千圓にして六月中に比し朝鮮産品六萬一千圓輸移入品二十一萬九千圓合計二十八萬一千圓減少したるが七月中貸出類別左表の如し(へ)

種別	金額(千圓)
朝鮮産品	
籾	四三
玄米	六一
白米	二二
大豆	一五〇
麥	六三
雜穀	四一
牛皮	三一
麻布	九
明太魚	二
海産物	一九二
鑛物	三
木材	二四
雜品	二九
合計	七九七
輸移入品	
米	五
粟	二三
綿絲	五五九
綿布	一三一
絹布	九
藥煙草	[illegible]
其他雜品	三〇七
合計	一〇四〇
合計	一八三八

京取自祝宴

京城現物取引市場一周年祝賀會は十五日午後六時より朝鮮ホテルに開催銀行會社及公職關係者新聞雜誌記者約二百餘名來會し七時半開宴々半にて釘本現株社長は創業以來の經過を略述し更に朝鮮の地株賣買は日を追うて増加の顯著なるものあり又短期取引は比較的増加を示し居り世上時に騰落値幅の多きこと亂調子相場なりとの非難する者あるも相場を行ふの餘地なかりし人爲相場を行ふの餘地なかりし健全なる精神を失はず經濟界に急激なる變化を來すことめ營業の方針として進みつゝあり並に思惑を防止するの三務條をご述べ次ぎに大久保雅彦氏は來賓側を代表して一場の謝辭を陳べ終りに後庭に於て數番の餘興あり盛會裡に午後十時散會せり

株式 (十六日)
現株市場出來値

銘柄		前場	後場
京取	寄	二宍〇〇	[illegible]
京取	引	二元五〇	二元九〇
仁取	寄	一全五〇	一全九〇
仁取	引	…	…
鮮銀	寄	二元五〇	二元五〇
同新	寄	四〇〇〇	四〇〇〇
殖銀	寄	五三〇〇	五三〇〇
同新	寄	一七二〇	一七二〇
實銀	寄	九七〇	[illegible]
商銀	寄	四八五〇	四八五〇
同新	寄	二四〇〇	二四〇〇
漢銀	寄	三九五〇	三九五〇
同新	寄	一〇四〇	一〇四〇
韓銀	寄	三八七〇	三八七〇
東拓	寄	六五〇〇	六五一〇
同新	寄	二〇九〇	二〇九〇
鮮土	寄	一三九〇	一三九〇
朝紡	寄	三三七〇	三三七〇
滿毛	寄	一七五〇	一七五〇
京電	寄	三三五〇	三三五〇
同新	寄	四〇〇〇	四〇〇〇
電興	寄	七七〇	七七〇
朝紙	寄	一八〇〇	一八〇〇
朝鄭	寄	三九五〇	三九五〇
殖鐵	寄	九六〇	九六〇
中鐵	寄	三七五〇	三七五〇
滿鐵	寄	一三〇〇	一三〇〇
同新	寄	三九五〇	三九五〇
安龍	寄	三三九〇	三三九〇
同新	寄	三三九〇	三三九〇
朝煙	寄	三七〇〇	三七〇〇

乙の部

銘柄		前場	後場
信託	寄	一三九〇	[illegible]
安取	寄	四四九〇	四四九〇
大新	寄	三三〇〇〇	[illegible]
上取	寄	七〇〇〇	七〇〇〇
新東	寄	一八〇〇	一八〇〇

短期取引

銘柄		前場	後場
京取	寄	二三九〇	二三九〇
仁取	寄	一八〇〇	[illegible]
大新	寄	三三八〇	三三八〇
滿毛	寄	一七〇〇	[illegible]
朝紡	寄	[illegible]	三三八〇
亞新	寄	三三〇〇	[illegible]
拓新	寄	[illegible]	三三〇〇

出來高 甲六千七百枚 乙三千二百十枚 計 甲三十九萬六千八百五十枚 乙三十七萬四千五百枚 短期五十五萬三百九十一枚 計四十五萬五千二百八十枚

東京現株

銘柄	十六日前場	十五日後場
鮮銀	二三〇	二三二
同新	四五〇	四五〇
東拓	六三〇	六七〇
同新	二二一〇	二二一〇
滿鐵	二〇〇	二三〇
同新	二一五〇	二一五〇
朝紡	五四〇	五四〇
滿毛	一七五〇	一七五〇
東新	二八〇	二〇〇
同新	五七五〇	五六五〇
東株	三〇〇	三〇〇
取新	八〇〇	八〇〇
鐘紡	一七四〇	一七三〇
朝防	二六一〇	二六一〇

大阪株式

銘柄	十六日前場寄付	十五日後場大引
大株	一六四・二〇	一六三・〇〇
同新	一三六・〇〇	一三六・〇〇
郵船	一四二・五〇	一五三・〇〇
同新	五二・三〇	五二・〇〇
商船	六三・〇〇	六三・五〇
同新	二一・五〇	二二・〇〇
鐘紡	三九〇・〇〇	三八〇・〇〇
東紡	三九二・八〇	三九一・〇〇
日糖	六〇・九〇	六〇・九〇
上取	一六八・一〇	一〇〇・〇〇

銘柄	十六日前場大引	十六日後場寄付
大株	一六四・〇〇	一六三・六〇
大新	一三六・〇〇	一三六・〇〇
郵船	三五・五〇	三五・二〇
同新	四二・一〇	四二・三〇
商船	五四・〇〇	五四・二〇
同新	六三・〇〇	六三・〇〇
鐘紡	三九二・〇〇	三八六・〇〇
同新	三九一・九〇	三九一・〇〇
東紡	一五一・八〇	一五〇・九〇
日糖	一〇八・九〇	一〇八・五〇
上取	…	…

安東株式

○十三日後場 寄付 大引
安取當 五四・三〇 五四・三〇
安取先 五四・三〇 五四・三〇
○十六日前場 寄付 大引
安取當 五五・〇〇 五五・〇〇
安取先 五六・〇〇 五六・九〇

前場は不勢
京取漸落

今朝の京取は押目待ちの買見送りに乘ずる軟派の追賣りとマバラ弱腰連の見切賣りに相場は案外に脆弱を見せ漸落歩調を辿つて短期三十五圓五十錢より引際三十四圓の關門を割りて二十九圓八十錢へ彼ね…

五圓六十錢方崩れ

今週三十五圓を寄つて六十錢と上乘せたが二の廻りは短期の引戻安に催されて買氣なく三十四圓三十五錢に始め續落三十四圓二十錢より五十錢寄ね揉み結局三十四圓五十錢と引けた

五圓四十錢安

來週三十七圓九十錢を寄つて二の廻り二圓と崩れ更に先安見越の賣物と押目買に三十圓關門の爭奪戰となりしも結局叩かれて二十九圓九十錢と引け

九圓方の暴落を演じ

たが此の時來週は百三十九圓の止めにて一圓安見越に安東地場の申引値押目買に三十四圓五十錢と引けた

京取戰緊張
賣方の跳梁
買方見送る

京取は今週買方の押目待ちに見送りの態度を取れる折柄賣方一派の活躍となり短期週間が通じ五六圓乃至九圓方の暴落を演じたが未だ何敗の決戰は今日の處孰れの勝利に歸するか判明せず殆んど五分の立場にありて判明せず寧ろ賣方は今朝の氣崩れを見て得意の色あり相場は狹くに綿密を生じて居るが以上此の暴落百圓の大崩を觀かれば商の立直りは至難であらうと唱へ暴の百四十七圓十錢は大天井と見たのは理想値を現はして最近の四十四圓九十錢が二番天井と見る時に之れより以後の持合に消えるのを分明し殊に配當と後場への觀測に然くもの無いが常局は理を了して手詰り初めて大底を突くものであるとして居るが又相場は積極的に反轉しても底入りと賣方の擬勢である…

後場は反撥

後場の京取は賣方の攻擊逆襲に續き信託會社の代引は既に三千餘株に減じ之れが爲め引歩は三圓二十錢より一圓三十錢と減ずる…買方の活躍となつて相場は一轉して押目は他所買方針をとつて居る…

大株の暗雲
延取引問題

現物市場設置問題に就て農商務當局に陳情すべく東上中であつた竹原非常商店氏外二名の重役は十三日歸來した…

米況 (十六日)
仁川期米
前場軟調

昨後場二十九圓六十五錢と沸騰したる跡を受け今朝は又復買氣に萎縮して當中限は二十九圓四十五錢と…

▲第一節 當中出來ざるも大阪寄付二十四圓九十六錢の予想も手堅く前場…

▲第二節 當中出來ざるも先三十四圓三十八錢と押し…

▲第三節 當中出來ず先三十四圓四十錢…

▲第四節 當中出來ず先三十鎧より…

▲第五節 當中出來ず先二十九圓二十八錢と…

形勢軟弱

揚付きの模樣としては未だ一段の高値へ運ばれねば此の儘で賣方の期待する暴落は一寸望み難き…

取組漸增

勝誇れる買方の押目買と軟派の現賣に因りて…

硬派利乘せ買

前場の報入に入て六萬餘石の取組となれる先限の買方權柄は…

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目
(丸大) 仲買店
電話長四四番、九〇五番

金太の雜平賣

一時四萬餘石の實玉を擁せし賣方の機關店たる金太は其後小口の提灯連の物を喚びたる關係上漸次建玉を減少し…

賣買差引殘

	賣方	買方
○十六日前場	…	…

	前場公定値	後場公定値
寄付	二九・四五	二九・三五
止値	二九・三〇	二九・三一
高値	二九・四五	二九・六五
安値	二九・二〇	二九・三五
一節	二九・四〇	二九・三三
二節	二九・三〇	二九・五七
三節	二九・一〇	二九・五七
四節	二九・二五	二九・四二
五節	二九・二七	二九・四二
六節	二九・二五	二九・四二

値段 當限 … 中限 …
取組高 …
來出高 十六萬〇四百石 六萬二千七百石

後場持合ひ

當中出來ず先二十九圓…

▲第一節 當中出來ず先三十五錢と伸び二十八錢と押し三十二錢…

▲第二節 當中出來ず先三十錢より三十二錢…

▲第三節 當中出來ず先三十錢より二錢あり三…

▲第四節 先三十錢より二錢あり三十一錢

定期大豆

新甫無閑散

七限受渡しの紛擾に次で八限の大受渡も何彼と紛擾絶へざるが爲め新甫格附の進行上に少なからぬ支障を來せる…

米界餘聞

十三日納會した大豆の受渡しで赤トウやら紛擾が起りさうであるが…

京城正米

今朝は三等合格二十七圓掛上玄二十五圓五六十錢の持合ひ唱へながら…

大豆

此兩三日來稍軟化めきたち…

小麥

…

驛發著穀物

八月一日より十六日に至る南大門及龍山驛發著穀物左の如し

南大門廻穀

…

仁川正米

定期の一高一低に地場正米も一般に…

釜山正米

昨後場大阪定期高に賣方高唱へ…

群山正米

八月末限二十七圓〇五錢 九月中限…

東京期米

○十六日前場先限 十六日後場先限
寄付 三四・〇〇 三三・九九
二節 三四・九〇 …
三節 三四・八〇 四・〇三
四節 三四・八五 …
五節 …
六節 三四・八一 …

大阪期米

○十六日前場 十六日後場
當寄 三三・二〇 三三・三四
止め 三三・二八 …
中寄 三三・三〇 …
止め 三三・二九 …
先寄 三四・九六 三四・九五
二節 九・八八 …
三節 八・八八 …
四節 九・九七 …
五節 九・九五 …
六節 九・九五 …
七節 九・九五 …

兵庫期米

○十六日前場 寄付 三四・五五 九節 三四・五六 十六日後場 三四・四八

下關期米

○十六日前場 當限 寄付 … 止め … 先限 … 十六日後場 寄付 止め

各地期米

○十六日後場止め
東京 三三・八七 大阪 三三・三一
兵庫 三四・五八 下關 三四・一三
桑名 三三・四一 名古屋 …
熊本 三三・〇四 金澤 三三・五〇

大阪三品

○十六日前場寄付 十八片米綿三十錢安 前場大引
八月限 …
九月限 …
十月限 …
十一月限 …
十二月限 …
一月限 …

大阪竹原商店總特約店 京城株式取引市場仲買人
新田耕市商店
京城南大門通(?)黃金町二丁目 市中構内
電話長五七〇番、一九六番

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目
今村覺次郎
電話長三三七番 三六八番

時計 村木時計店
京城本町二丁目
電話四七一 振替京城一三〇九

出版案内
受驗用表解 一冊三十八錢
日本史、東洋史、西洋史上下
外國地理上下、化學、物理學上下
幾何上下、代數上下、數學
物學、動物學、礦物學
生理衛生、國文法數學公式
英語自由自在 同 一圓二十錢
投書の付方 同 一圓十錢
商業要項文 同 一圓六十五錢
商略百ヶ條 同 九十錢
京城本町・振替二二二三
ウツボヤ書店

痔疾專門 京城久枝肛門病院
京城明治町二丁目 電話二一〇三

開業廣告
今般左記の通り御許可相受け開業仕候に就ては何卒格別の御引立の程伏して奉希上候 敬具

仁川海岸町三丁目
仁川米豆取引所仲買人
桑野仲買店
電話長二九番

仁川海岸町三丁目
仁川米豆取引所仲買人
野中仲買店
電話 長 九〇一 九二番
電略(○ノ)又ハ(ノ)

謹啓
陳者殘暑嚴敷御座候處各位益々御健祥に被爲涉候段奉大賀候偖て弊店儀諸彦の御引立により日日隆盛に趣き候段難有奉感謝候然るに私事去る七月廿六日國元母病氣に罹り危篤の飛電に接し急遽歸省仕り目下看病中に御座候然る處其後京城株界俄然活況を呈し店員多忙の爲め御不行届勝にて定めし御不滿の點多々ある事とし一層勉勵致す可く樣中遣置候に付き何卒倍舊御引立の程偏に希上候尚私事遲くも本月末には歸店致可く候に御座候時節柄折角御自重御健在の程奉所上候先は御挨拶迄如斯御座候 敬具

在大分縣北海部郡青江村
大正拾年八月拾參日
株式仲買店主 中津留孫市
各位

連絡船乘客

○十四日朝入港博愛丸船客一等(二十名)外八二等(四十三名)三等(百○)
○十五日夜入港對馬丸船客一等(一)…

釜山の商閑期
釜山に於ける商閑期呼

…

大阪新聞社活動寫眞は八月十二日…

浮草 (28)

入江新八　作
山口早苗　畫

新らしき知人（五）

道代は遲く宿屋に歸つて來た。今夜の數時間が自分の將來の運命を飜惑されるやうな氣がして心は滿々とした。河村駿一郎といふ青年文士と知合ひになつたことが自分の將來に幸福を齎すやうに思ひ做されてうれしかつた。けれども河村さんが何處まで自分を認めて呉れてゐるこか、ほんの今日初めて知つたばかりで、何ういふ氣持ちで自分を散步に伴れて步いて呉れたのか、其心持をよく解することも道代には出來なかつた。何だか恐ろしいやうな氣持にもなつた。斯ういふ時に、宮崎さんに相談して見れば、いろ／＼また容子

も分るだらうに、と思つたりした。何んとなく鬱結した心の狀態が彼女を些とも落ちつかせなかつた。一晩、おち／＼と眠ることも出來ずに、寢返りをしたり、起上つて雜誌を讀んだりしてゐる中に、夜は白々と明けた。それから、うと／＼とした後、ぐう／＼ぐつすり寢込んだ。これまでに道代は宮崎のことや、河村のことや、奧山秋子のことや、其他の文士連のことを繰返し考へて、東京の大きい文壇といふ一つの世界が自分の想像の及ぶ丈けの範圍に眼の前に開展して來て、其儘、これを夢の中に見ながら眠りに落ちた。

『あなた、お客樣でございますよ。』

と女中の呼び起す聲に道代は目覺めた。すると、其所へ、もう、お客の聲が聞ゐたので、若しや河村さんでは無いかと道代は狼狽へて、ごうしたら好からうと困つて、まご／＼してゐる處へガラリと障子を開けて這入つて來たのは宮崎だつた。

『僕ですよ。』

『まあ、斯んなに早く……何うなすつて？』

『そんなに早くはないよ。隨分寢坊だなァ。』

さう云つて、河村は、無遠慮に道代の寢姿を見て立つてゐた。道代は女中に手傳つて貰つて寢床を上げたり、寢卷を着かへたりした。宮崎は興ありげにニヤ／＼笑ひ乍らそれを見てゐた。

『銀行へ出る前に一寸あなたに逢はうと思つて來たんだ……僕は、よく考へて見たんですが、貴女が折角、斯うして僕をたよつて來たのに、僕が何のこともあなたにしないといふことは、さうも餘り不人情なやうで、心が咎めてならんのですよ。』

さう云ひ／＼霞をふかしてゐる容子は、つい二三日前の宮崎のやうではなく、優しい親切な前の宮崎のやうに思はれて、道代は心嬉しく感じた。併し、彼女は默つて男の言葉を聞いてゐた。

『それで、今朝少し早く家を出て來たんだが……貴女の目下の狀態が何うなんです？ 御兩親からは何う云つて來ましたね』

『まだ何とも返事は參りませんのよ。何うで、もう、私のことはかまいつけては呉れはしませんわ。母が御存じの通りなんですから……父は、それでも心配をしてはゐるでせうけれど……』

『ぢや、お父樣から補助して貰ふあてもないでせう。』

『エヽ、とても駄目ですわ。』

『今、あなたは困つてゐるのですか。』

『エヽ、隨分……。さうすれば好いか、此儘、宿屋にゐては、何うなるでせう……。』

『僕ね少しだけれど、當座の凌ぎ丈けの處を助けませう。此丈け置いて行きますから……。』

さう云つて宮崎は紙に包んだものを道代の前に置いた。そして夕方歸りに一寸また寄るからと云つて、サッサと出て行つた。道代は、何うしたのだらうと思つた。急に宮崎の態度の變つたことを不思議に思つた。

夕方になると、宮崎は果して來た。一緒に外で夕飯を食べやうと云つて道代を誘れ出した。そして、カッフェへ道代を伴れて行つた。道代が這入つて行くと、車夜の連中が來てゐて、一齊に道代の方を觀た。宮崎は平氣な顏をして、道代と相對して卓に向つてゐた。

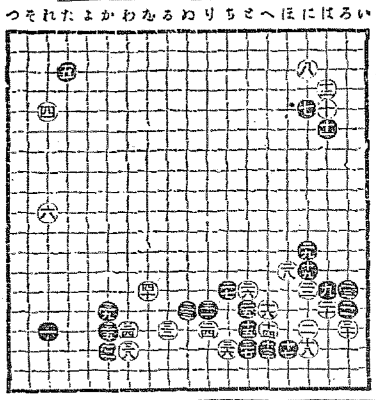
秋の雪　トキソ譯　發賣元

各種の染物は（龍山三角地）の 京都新見本 京屋京染店 電話七五二番 振替京城八二五番

皮膚科 泌尿科 專門 外科 扇田醫院 本町太平通二丁目 電話二一二九八番

新局碁戰（二）

三段　先々先番　平山壽氏
三段　山柴文吾氏



●二十一 ろの十五	○二十八 ほの十三	●三十五 かの十六
○二十二 にの十四	●二十九 にの十二	○三十六 ちの十七
●二十三 ろの十四	○三十 ろの十五	●三十七 との十七
○二十四 りの十六	●三十一 りの十六	○三十八 わの十七
●二十五 との十五	○三十二 ろの十六	●三十九 かの十五
○二十六 との十四	●三十三 ぬの十五	○四十 なの十四
●二十七 ちの十四	○三十四 わの十六	

短歌（矢橋小葩選）

白鳥

峰ゆき三郎

泣き濡れてひさりたどればほの／＼と波の背きに櫻ちりゆく

海鳥の白きが一つかはたれの哀みのこと波にたゞよふ

夕潮しほの泌みてうす光る貝しなつかしく探りてかへらむ

今もかもその故郷の内海の渚に出でて物や思へる

小林　敏

ふるさとの夜須のほとりの砂濱にそそげる雨をはやも聽かばや

或時は南滿洲の飛山の夕燒空をなつかしと見る

中樹美矢香

みづくしし一望の雪に生命ありさへば聽きて泣きまく思ふ

これやこの奇しきゑにしは今しげ斷たれむとして君故に泣く

佳　宵

飛山河はるかに君は去に給ふ南の國うれひあらすな

秋　村

わが戀は露にほゝゑむ朝顏のそれにも似たる生命なりけり

はからずも物の綻びの悲しさを又見つれども語りわぬ我

何物のなし誰ぞも自らの冷たき骸ひさへ抱かむ

阿蘇小夜子

假初のことばに一つに復れ去りしわがあこがれの玉は翡玉は

はたゝ神鳴りのひゞけば子等は皆蚊帳にすくみて我を呼びつゝ

衣川　鴎子

天上の神のかたへに侍る人招くさ思ふ星のまたゝき

狂ふほど自ら剝しもせむ程に戀ひつる日は若かりしかな

目に映る物皆淋しよそ人に似しこと君が振舞ふ時は

わたつみの沖の彼方に泳ぎ行く二艘の船の君とおのれと

梧桐の覗く窓より小さき鉢植ほつほうの間仲間の日

かにかくに我ればおん前に捧げ盡して悔いざるものを

▲近い中に文藝雜誌『宗跡の途』が生れ出るといふ噂を耳にしました。皆々樣の中で（さなえ）

▲是から出るのか、御存知の御方は御面倒でせうが當欄まで御知らせ下さい（馬場生）

▲ツイエイ生に連記係おく敬へしてもよし永樂町二丁目衛通安局へ（電一〇六二）

▲知人某高等學校の細君は此頃孩兒（女）を遺して逝かれました、未だ頑是ない多數の兒女ある中に夫君は此の嬰兒を擁して當惑して居られます無心の兒は父の膝に乳を求めて泣いて居るのを見／＼に氣の毒に堪へません、人情深き諸君、御乳母さん又は嬰兒を預り下さる方がありましたら御一報願ひます（一友人）

▲十日程前から櫻井小學校附近へ可憐な一少年が徘つて來ました。生地は熊本縣で名は友田正一、年は十歲と云つてゐます、彼れは二歲の時に父は火事で燒死し母はおのぶと逃げたとの事です、當時之れを目擊した某軍人は御隱の情に堪へず、二歲の彼れを拾ひ上げて龍山に來たが何處までも不遇な彼れは此の恩人たる軍人にも死別し其後誰れが世話するともなく今まで放浪してゐるとの事です、十二歲位に見ゆる丸々と肥つてゐます、此の憐れな孤獨の彼れを世話してやつて下さる仁人の出ないでせうか、私は彼れの前途を思ふと同時に、小學校附近で同じ年頃の學生達と打交つて遊んでゐるのを見ると風數上あまり感心した事でなからうかと思ひます（南海生）

お慰み？ 考へもの募集

右の婦人の髮飾りの内で何物が有ますか、ハガキで御回答下さい、住所氏名明記の事、當選者には御通知申上げます、何人にも男女の別なく容易に御判りになります、入れ雛き密新文句付珍本を三種以上提供、揭載後七日間以內有効
東京向島寺島　青葉堂書店

自動車定期運轉
○平壤、江東、成川間
○平壤、順川、新倉間
○平壤、價川間
○市內運轉、停車場送迎
名勝古蹟案內隨時運轉

▲販賣部
米國フォード自働車會社 自働車及附屬部分品一切 セール フレザー、タイヤ、ダンロップ、グッドリッチ、アジャックス、ノーモービル油、グリース其他販賣
朝鮮平壤府大和町七番地
株式會社 平南自働車商會
電話長九五五番 振替口座京城八九九三番

博多取引所仲買人 首藤定商店 電話長二三二二番 二四二八番

六ノ下の銘酒
發賣元
首藤京城支店 電話一一七一番
首藤釜山支店 電話三四三番
首藤博多支店 電話二八八番

生殖器病 必治 新療法
早漏・陰萎・遺精・淋病・梅毒等は必治保證の新療法を使へば一回何に日に見へて快復す 病症記入藥書申越あれ 圖入說明書無代密送す
京城黃金町一丁目京城支部
東京神田淡路町 株式會社新療法研究所

內科 胃腸病 診察午後九時迄
京城本町一丁目 石川醫院 電話一三九〇番

營業科目
電燈、電力、電氣工事設計請負監督
電氣機械材料輸入販賣
發電機、電動機、變壓器、各種機械
計器、避雷針、修繕及試驗
川北扇風器西鮮一手販賣
朝鮮平壤櫻町二番地
東洋電氣商事合資會社
電話長六一九番 振替口座京城四三一〇番 電略（ト）又ハ（トヨ）
工作所專用 電話七八九番
倉庫部專用 電話八七六番

えゝ気のみなもと
ほまれみそ
醸造元 仁川港 日本醬油株式會社

痛快！
比なし 運動後の一浴!!
品質本位
花王石鹸
の化學的衛生的獨特の妙味は暑さに從つて愈々完全に發揮されます

花王石鹸製造元 東京馬喰町 長瀨商會
花王石鹸關西代理店 大阪安土町 大崎組

足袋王
拍子揃へて七白
つちやたび
全く足許を優しく見せる格恰の良さ…
上品で而も眞似の出來ぬ保ちの好さ…
鄙も都もおしなべて皆召すつちやたび
大阪支店 大阪本町
本社 久留米市米屋町
東京支店 東京新材木町

汽車 京 … 湖南線 … 馬山線 …